

令和3年 第6回

# 戸田市教育委員会定例会

令和3年6月18日（金）午前9時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

# 第6回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 専決処理事項の報告

報告第13号 生涯学習課所管施設の開館時間変更について…………… 1

(2) 議案

議案第22号 「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」に係る  
受入困難地区等の指定見直しについて…………… 4

議案第23号 戸田市立郷土博物館の特別整理期間に伴う休館について…………… 5

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和3年7月15日（木）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

# 生涯学習課所管施設の開館時間変更について

## 戸田市立芦原小学校生涯学習施設開館時間変更の延長について

### 1 開館時間

【変更前】 午前9時から午後9時30分まで

【変更後】 午前9時から 午後8時 まで

(ただし、貸室の利用時間は 午後7時30分 まで)

### 2 期 間

【変更前】 令和3年4月28日(水) から令和3年 5月31日(月) まで

【変更後】 令和3年4月28日(水) から令和3年 6月20日(日) まで

### 3 理 由 等

戸田市新型コロナウイルス対策本部会議において、市内公共施設等の開館時間について、6月20日(日)までは午後8時までとすることが決定されたため。

### 4 参 考

戸田市立芦原小学校生涯学習施設運営要綱 ～抜粋～

(利用時間)

第3条 施設の利用時間は、午前9時から午後9時30分までとする。

(休館日)

第4条 施設の休館日は、次のとおりとする。

(1) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

(2) その他教育委員会が必要と認めた日

## 戸田市立図書館上戸田分館の開館時間変更について

### 1 開館時間

変更前 午前9時から 午後9時30分まで

変更後 午前9時から 午後8時まで

### 2 期 間 令和3年6月1日（火）から令和3年6月20日（日）まで

### 3 理 由 等

令和3年5月31日開催の戸田市新型コロナウイルス対策本部会議において、当該施設の開館時間の短縮が決定したため。

### 4 参 考

戸田市立図書館条例施行規則 ～抜粋～

(利用時間)

第4条 図書館の利用時間は、次のとおりとする。ただし、戸田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは、これを臨時に変更することができる。

名称	利用時間
戸田市立中央図書館	月曜日から金曜日まで（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）は午前9時から午後8時までとし、日曜日、土曜日及び休日は午前9時から午後6時まで
<u>戸田市立図書館上戸田分館</u>	<u>午前9時から午後9時30分まで</u>
戸田市立図書館下戸田分室、戸田市立図書館美笹分室及び戸田市立図書館下戸田南分室	午前9時から午後6時まで
戸田市立図書館戸田公園駅前配本	月曜日から金曜日まで（その日が休日

所	である場合を除く。)は午前8時30分から午後8時までとし、日曜日、土曜日及び休日は午前9時から午後5時30分まで
---	--

## 第9章 雑則

第34条 第4条から第10条の2まで、第12条から第18条まで及び第20条から第23条までの規定は、第31条の規定により図書館の管理に関する業務を行う指定管理者について準用する。この場合において、第4条中「戸田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは」とあるのは「指定管理者は、教育委員会の承認を得て」と、第8条中「館長が」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得て」と、第9条第1項、第4項及び第8項中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第10条及び第10条の2中「館長が」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得て」と、第12条、第13条、第16条から第18条まで並びに第22条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとし、第1号様式から第8号様式までに替わるものを指定管理者が別に定めるものとする。

# 議案第22号

「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」に係る受入困難地区等の指定見直しについて

## ●受入困難地区等一覧表

令和3年7月1日時点

「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」第5条に基づく学校施設ごとの受入困難地区等を下表のとおり指定する。

学校施設(小学校)	受入困難地区等
戸田第一小学校	準監視地区
戸田第二小学校	準監視地区
新曽小学校	準監視地区
美谷本小学校	受入困難地区
笹目小学校	準監視地区
戸田東小学校	準監視地区
戸田南小学校	受入困難地区
喜沢小学校	受入困難地区
笹目東小学校	監視地区
新曽北小学校	準監視地区
美女木小学校	監視地区
芦原小学校	準監視地区

学校施設(中学校)	受入困難地区等
戸田中学校	地区指定なし
戸田東中学校	地区指定なし
美笹中学校	地区指定なし
喜沢中学校	地区指定なし
新曽中学校	地区指定なし
笹目中学校	地区指定なし

## ●受入困難地区等について

上表の受入困難地区等については、変更することがある。

「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」第7条に基づく教育委員会との協議において、計画戸数の上限と併せて最新情報を確認すること。

## 戸田市立郷土博物館の特別整理期間に伴う休館について

## 1 特別整理の期間等

施設名	期 間	日数
郷土博物館	令和 3 年 9 月 13 日（月）～9 月 18 日（土） ただし、9 月 13 日（月）は第 2 月曜日のため通常休館	6 日間

## 2 理 由

戸田市立郷土博物館では、中央図書館の特別整理期間に合わせて、戸田市立郷土博物館条例第 6 条に基づき、特別整理（収蔵庫の清掃及び資料の点検・整理等）を実施するため、休館します。

中央図書館の特別整理期間による休館につきましては、令和 3 年第 3 回教育委員会定例会において議決済です。

## &lt; 参 考 &gt;

## (1) 戸田市立郷土博物館条例 ～抜粋～

(休館日)

第 6 条 郷土博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月の第 2 月曜日、第 4 月曜日及び第 5 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)第 3 条に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。
- (2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで
- (3) 館内整理日(毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。
- (4) 特別整理期間(毎年 1 回 15 日以内)
- (5) その他教育委員会が必要と認めた日

## (2) 戸田市立図書館条例 ～抜粋～

(休館日)

第 6 条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを臨時に変更し、又は定めることができる。

区分	休館日
戸田市立中央図書館、戸田市立図書館下戸田分室及び戸田市立図書館美笹分室	<p>(1) 毎月の第2月曜日、第4月曜日及び第5月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）</p> <p>(2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで</p> <p>(3) 館内整理日（毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。以下同じ。）</p> <p>(4) <u>特別整理期間（毎年1回15日以内で教育委員会が定める日。以下同じ。）</u></p>

# 教育委員提案

令和3年第6回教育委員会(定例会)

令和3年6月18日(金)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 教育委員提案

ページ

- ① ICT 教育における学校と家庭のネットワーク環境について（木村委員）…………… 1  
（教育総務課）
- ② 今後の学校行事について（土肥委員）…………… 2  
（教育政策室）

ICT教育における学校と家庭のネットワーク環境について

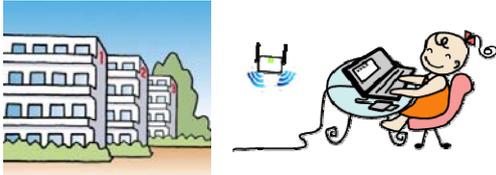
【目的】

コロナ禍の中で、学校での学習ができなくなった場合に備え、学習の機会を確保する上から、オンライン学習(授業)の必要性が高まってきた。

本年4月から、3年生以上は、一人一台PCの環境が整備されたため、自宅にWifi環境が整っている家庭では、オンライン学習(授業)が可能だが、Wifi環境が整っていない家庭では、オンライン学習(授業)に対応できない。

そのことから、自宅にWifi環境が整備されていない家庭に対して、モバイルWifiルータを貸与し、オンライン学習(授業)に対応できる環境整備の補完を目的とする。  
※通信料は各家庭が負担。(各家庭SIM契約をし、通信料を負担する)

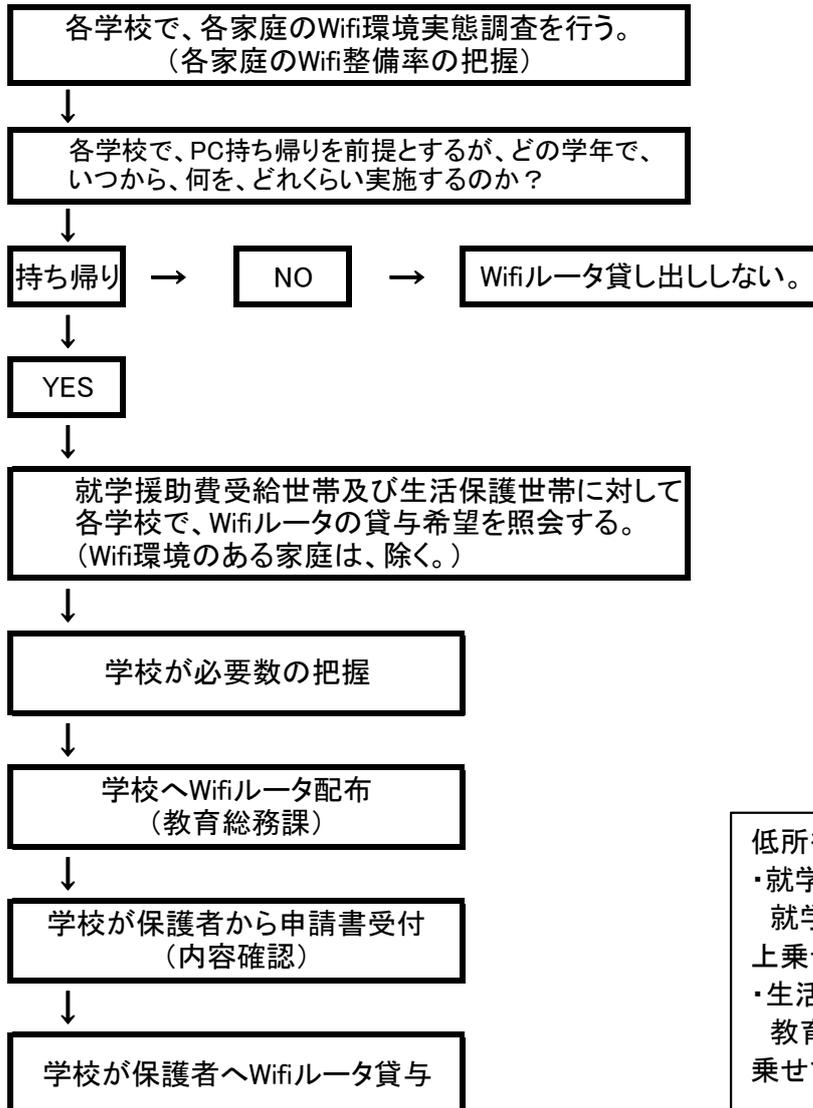
自宅Wi-Fi環境が無い家庭モバイルWi-Fiを導入



<<家庭でのオンライン学習(授業)不可>> → 可へ

◎機器整備の現状:Wifiルータを200台整備(教育総務課)  
貸し出しに関する規定の整備

◎運用に伴う学校との調整(教育政策室) 家庭でのchromebookの活用促進等  
貸与までの流れ(学校と家庭のシームレスな学びの実施)



低所得者への援助について  
 ・就学援助世帯  
 就学援助費に通信費相当分を上乗せで、支給。  
 ・生活保護世帯への援助について  
 教育扶助に通信費相当分を上乗せで、支給。

# 6月 教育委員提案 今後の学校行事について

戸田市教育委員会  
教育政策室

## 学校行事について

学校行事とは、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う活動である。

「学級・学校文化を創る 特別活動」(国立教育政策研究所)より抜粋

区分	具体的な学校行事
儀式的行事	入学式・卒業式・始業式・修了式など
文化的行事	音楽会・合唱祭・作品展示会・音楽鑑賞会など
健康安全・体育的行事	運動会・体育祭・健康診断・避難訓練など
旅行・集団宿泊的行事	遠足・林間学校・修学旅行など
勤労生産・奉仕的行事	ボランティア活動・社会体験学習(3days)・大掃除など



# 戸田市としての方針

## 子供の「体験的な活動」を保障するために

### 感染対策を講じたうえで、工夫して実施する

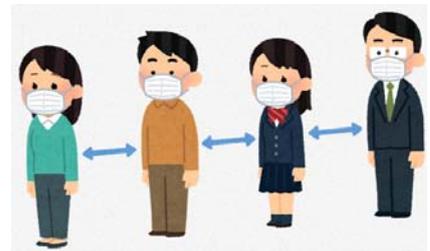
#### ○感染対策を講じる

- 例
- ・人と人の距離をとる。
  - ・換気をする。
  - ・参加者の人数を制限する。



#### ○工夫する

- 例
- ・内容を精選して短時間で実施する。
  - ・人と人の接触が少ない、飛沫が飛ばない活動のみに制限する。
  - ・学年で日時を分けて実施する。
  - ・ICTを活用する。



## 運動会・体育祭における工夫

### 新曽小の取組み

- 学年毎に開催時間を区切り、完全入替制とした。
- 開会式はオンラインで密を避ける。



- 応援は飛沫が飛ばないように応援グッズを作成した。



- 接触の少ない内容を精選した。



- 玉入れ用の玉は自分専用のものを制作して共同に使用するものを控えた。



# 修学旅行について

## 実施基準（「戸田市戸田市立小・中学校修学旅行の実施について」より）

各学校は、下記（１）～（３）をすべて満たすことを確認した上で、２１日前までに「校外行事承認願」を教育委員会事務局に提出する。

- （１）政府、埼玉県、戸田市または旅行先（すべての滞在先）の自治体から都道府県をまたぐ移動自粛や休業要請※<sup>1</sup>または、それらに準ずるような呼びかけがなされていないこと。または、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がとられていないこと。
- （２）保護者・児童生徒に対して参加申込書を取り、８５％以上の参加が得られること。
- （３）下記３．の感染防止対策※<sup>2</sup>が講じられていること。

出発当日までに上記事項を満たさない状況が１つでも発生した場合、または出発日時点において当該学年の一部でも臨時休業している場合は、当該校における修学旅行は中止または延期とする。

### <6月1日時点での状況>

戸田東中、美笹中、新曽中、笹目中→延期を決定したが、延期後の日程は未定。

戸田中→8月27日～29日に延期を決定した。

喜沢中→10月16日～18日に延期を決定した。

## 令和3年度以降の林間学校・スキー教室

### 戸田市立少年自然の家の廃止

戸田市立少年自然の家は1974年に建設され、小・中学校では林間学校の宿泊施設として使用してきた。

しかし、児童生徒数の増加に伴う収容人数不足や施設の老朽化から、2021年3月31日に閉鎖された。

### 林間学校の宿泊施設の選定

廃止に伴い、2020年度に小学5年生で実施する林間学校、中学1年生で実施するスキー教室の宿泊地を各校代表による「林間学校実施施設検討委員会」で協議の上、決定した。

#### 小学校林間学校

国立赤城青少年交流の家

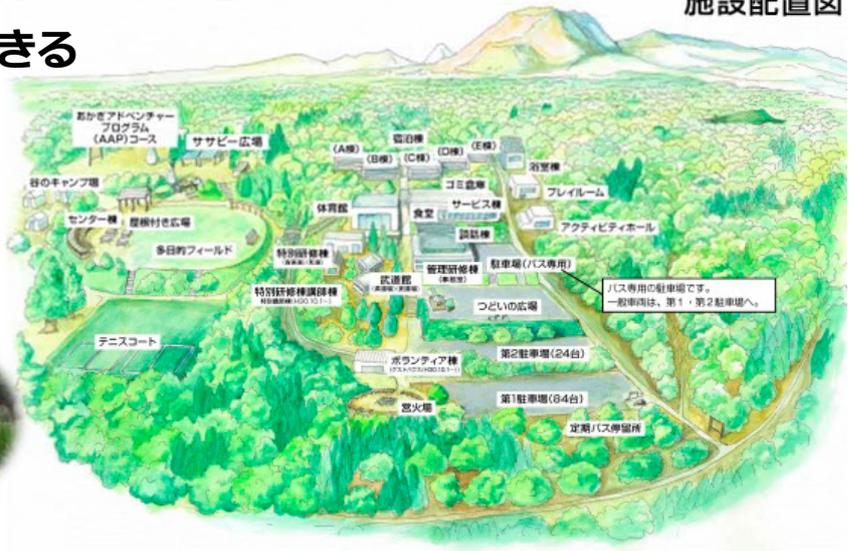
#### 中学校スキー教室

菅平高原の民間宿泊施設

# 国立赤城青少年交流の家について

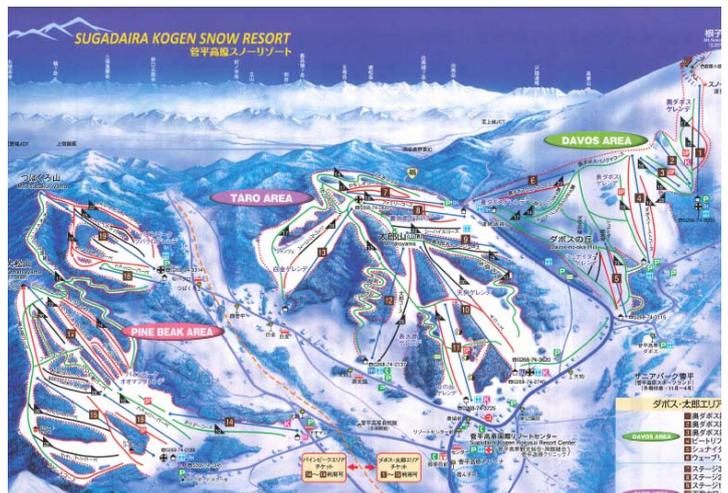
- ・ 関越自動車道赤城ICから20分
- ・ 赤城山南麓に広がる黒松の森に囲まれ、標高500メートルに位置する
- ・ 施設は東京ドーム5個分以上の広さ
- ・ 400人以上が宿泊できる
- ・ 施設内でできるプログラムは40以上

施設配置図



# 菅平高原について

- ・ 上信越自動車道上田菅平ICから30分
  - ・ 民間宿泊施設は小規模から大規模まで20棟以上ある
  - ・ 大規模校にも対応できる民間宿泊施設が10棟ある
- 300名まで宿泊可能 → 2棟      400名まで宿泊可能 → 7棟  
 450名      "      → 1棟
- ・ 多くの民間宿泊施設からスキー場まで徒歩3分以内



## 宿泊に伴う補助について

- ・ スキー林間学校は民間宿泊施設で実施することから、宿泊費が発生する。
- ・ 宿泊費が発生することから、家庭の経済的負担が増える。

改善策

### 宿泊費の補助

生徒 1 人あたり13, 000円の補助  
(2泊3日)

# 報告事項

令和3年第6回教育委員会(定例会)

令和3年6月18日(金)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 報告事項

ページ

- ① 令和3年6月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び常任委員会について…………… 1
- ② 令和3年度第1回戸田市海外留学奨学生について…………… 8  
(教育総務課)
- ③ 芦原小学校教室棟(含給食調理場)増築等工事基本設計書について…………… 9  
(教育総務課)
- ④ 令和3年度の教科書採択事務処理について…………… 21  
(教育政策室)
- ⑤ 令和3年度における教科書展示会の開催について…………… 24  
(教育政策室)
- ⑥ 令和2年度戸田市民大学認定講座の実績及び令和3年度の予定について…………… 26  
(生涯学習課)
- ⑦ 青山学院大学・戸田市連携講座の開催報告について…………… 当日配付  
(生涯学習課)
- ⑧ 第27回企画展「1964～戸田に聖火が灯る～」の開催について…………… 33  
(生涯学習課)
- ⑨ 市内中学校の生徒指導案件について…………… 資料なし  
(教育政策室)
- ⑩ その他

## 令和3年6月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び常任委員会について

## 宮内そうこ議員（戸田の会）

## 1 教育支援センター「すてっぷ」の取組と、戸田市における不登校児童生徒への対応について

## (1) 教育支援センター「すてっぷ」での、不登校児童生徒に対する具体的な取組と現状について。

→ 「すてっぷ」では、市内小・中学校の不登校児童生徒に対して、学校復帰や将来的な社会的自立に向けて、様々な支援を行っている。具体的には、国語、算数・数学、英語などの教科指導やディベート活動、ICTやプリントを活用したドリル学習や個別学習など、個々の児童生徒の学力の状況に応じた学習指導に取り組んでいる。

また、豊かな情操を養い、自律心を確立するために、絵はがき体験や茶道体験、農業体験、体育活動など、様々な体験活動を実施している。現在は、コロナ禍により、活動場所を分散したり、内容を工夫したりして、学校と同様、感染症対策を徹底しながら活動している。

## (2) 中学校の「さわやか相談室」での取組について。

→ 「さわやか相談室」は、市内全中学校に設置しており、友人関係や学習、部活動等、様々な悩みを持つ多感な時期の中学生の相談を行っている。学校によっては、小学生の相談も受け入れている。さわやか相談員やボランティア相談員が常駐し、子供たちの話を丁寧に聞き、悩みの解決に取り組んでいる

また、全小・中学校に配置しているスクールカウンセラーや、各中学校区に配置しているスクールソーシャルワーカーも専門的な知見をもって相談を行っている。

## (3) 「すてっぷ」及び「さわやか相談室」のいずれにも通っていない児童生徒に対する働きかけについて。

→ 「すてっぷ」や「さわやか相談室」に通っていない児童生徒については、学校の教師や相談員、スクールソーシャルワーカー等が家庭訪問や電話連絡を粘り強く行い、家庭や児童生徒との信頼関係を構築している。また、「すてっぷ」では、保護者からの要望に応じて家庭訪問支援を実施する体制も整えている。

今後も、きめ細やかな不登校児童生徒の居場所づくりと学習支援に取り組んでいく。

## 花井伸子議員（日本共産党戸田市議団）

### 2 学校のトイレに生理用品の設置を

- (1) **新型コロナウイルス感染症拡大から社会の様々な問題が浮き彫りになってきた中で、「生理の貧困」が指摘されている。コロナ禍に限らず、学校のトイレに生理用品を設置し、子供たちの教育環境を整えるべきと考えるが市の考えを伺う。**

→ 学校では、児童生徒が学校生活上、生理用品が必要になったときのために、保健室に生理用品を常備し、提供している。また、保健の授業での性教育や、宿泊行事前の養護教諭や女性教諭による指導、保健だより等を通じて、困ったときには女性教諭や保健室に相談するよう周知している。

なお、新型コロナ関連施策として、生理用品の購入が困難な方を支援するため、児童・生徒用に生理用品を学校の保健室に無償で提供することとしている。

今後は、言い出しにくい児童生徒に配慮し、各学校が実態に応じて提供場所を設置するよう、校長会に情報提供していく。

## 三浦芳一議員（公明党）

### 2 35人学級の課題と、今後の展開について

- (1) **小中学校における学年別1クラスの人数の現状について。**

→ 小・中学校における学年別1クラスの人数は、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律で定められている。これまで、この法律では、小学1年生は35人、小学2年生から中学3年生までは40人とされていたが、このたびの法律の一部改正により、今年度から小学2年生も35人、今後5年かけて段階的に小学6年生までが35人学級となる。

なお、埼玉県においては、法改正以前から学級編制の特例により、小学2年生は35人学級が認められている。

戸田市においては、これらの基準に則り、小学1、2年生は35人、小学3年生以上は40人の学級編制となっている。

- (2) **少人数学級の狙いを伺う。**

→ 文部科学省によると、今回の改正は、Society5.0の時代の到来や子供たちの多様化の一層の進展等の状況も踏まえ、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育へ転換し、個別最適な学びと協働的な学びを実現することが必

要であることから、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と安全・安心な教育環境を整備するためとされている。

本市においても、このねらいを実現できるよう努めていく。

### **(3) 世界一忙しいと言われている教員の労働環境の改善についての考えを伺う。**

→ TALIS 2018、OECD 国際教員指導環境調査では、日本の教員の一週間あたりの仕事時間が調査参加国中、最も長いという結果が出ている。教員の働き方改革は、県でも最重要課題に位置づけられており、本市においても喫緊の課題と捉えている。

現在、各学校では、働き方改革を推進するためのチームを組織し、業務の精選や統合を図るなど、校長を中心に主体的に業務改善に取り組んでいる。

戸田市教育委員会では、勤務時間の管理、勤務時間の上限に関するガイドライン遵守を指導するとともに、ICT 機器の導入や校務システムの整備、効果的な取組を共有するなど、様々な支援を実施している。

また、教職員のメンタルの不調を未然防止することを第一の目的として、教職員ストレスチェックを毎年実施している。ストレスチェックの結果、必要と認められた場合には、本人の希望により医師の面接指導を受けられる体制を整えている。

今後も、学校と連携を図りながら、教員の労働環境の改善に努めていく。

## **3 ヤングケアラー対策について**

### **(1) ヤングケアラーの実態調査が本年、国で初めて実施された。孤立化や貧困等で友達や先生に相談できず、自らSOSを発信できなくて困っている子供をどう見つけ出していくのか。行政としてどのような支援ができるのか考えを伺う。**

→ 教育委員会では、多様な相談のニーズに応えるため、スクールカウンセラーを小学校に週2回、中学校に週1、2回、スクールソーシャルワーカーを中学校区に週1回配置し、専門性のある人材を活用した相談を行っている。

また、各学校の教育相談部会等において、それぞれが把握している情報を共有することで、課題を抱えた児童生徒一人一人に寄り添い、適切な支援につなげている。

今後も、ヤングケアラーのみならず、様々な課題を抱えた児童生徒に寄り添い、きめ細やかで適切な支援につなげるよう、取り組んでいく。

## **佐藤太信議員（戸田の会）**

### **2 学校施設のバリアフリー状況について**

#### **(1) 市内小・中学校におけるバリアフリー化の実態は。**

→ まず一つ目に、車椅子利用者用トイレですが、全小中学校で整備済みでございます。校舎又は体育館に設置している。

次に、建物や教室等の入口までのスロープ等による段差解消であるが、18校中、12校が整備済みである。

最後に、エレベータ整備ですが、18校中、16校が整備済みとなっている。

## **(2) 戸田第一小学校の屋内運動場（体育館）のステージ設計図について。**

→ 体育館は、文部科学省の整備目標にもあるように、フロアの入口までのバリアフリーを整備する設計となっているので、国の整備目標は達成していると考えている。また、戸田第一小学校の改築工事等については、設計が終わり、現在、工事請負契約に関する入札の告示がおこなわれた状況である。今回の設計は、基本設計、実施設計を経て、その都度、議会にも報告してきた内容であるので、設計変更は考えていない。

## **(3) 今後の物理的障壁の解消に向けた取組は。**

→ 調査結果から明らかになったバリアフリー未整備箇所については、文部科学省の通知にもあるように、可能なものから整備を進めてまいりたいと考えている。

また、体育館のステージは、体育館フロアや教室と違い、限られた場合の利用であること、ステージまでのバリアフリーについては、文部科学省のバリアフリー化推進指針に明記されていないことなどから、国の指針の動向を注視していきたいと考えている。

## **本田哲議員（日本共産党戸田市議団）**

### **3 田辺三菱製薬跡地に建設予定の大型物流施設に関わる諸問題について**

**(1) 川岸2丁目の住宅密集地に24時間365日稼働の大型物流施設の建設が進められるようとしている。近隣住民を中心に「川岸地区の生活環境を守る会」が結成され、3月議会に会から請願が議会に提出され全会派一致で採択をした。その後、文教・建設委員会において、担当課からの報告を受け、委員会としての意見を取りまとめ要望書を提出した。現在、請願や要望書の内容を踏まえ事業者と各課協議が行われているが、以下4点の内容について伺う。**

#### **① 通学路について**

→ 通学路に関して市の対応としては、各課協議の中で事業者に児童・生徒の交通安全の配慮を求めている。

その結果、工事期間中、事業者は児童の登校時の午前7時30分から8時15分は工事車両の出入りを見合わせることに加え、警備員を配置するとのことである。

### 三輪なお子議員（公明党）

## 2 がん教育について

中学校では今年度から保健体育の教科書が改訂されるなど「がん教育」が本格的に始まる。

### (1) 学校におけるがん教育について。

#### ① 本格実施される教育のポイントとその目的について伺う。

→ 生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測されるがんは重要な課題であり、がんに関連する知識は、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつある。文部科学省では、「がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である」と定義している。

また、平成28年12月に改正されたがん対策基本法において、「がんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずる」旨の文言が新たに記載された。

これらを受け、学校においてがん教育が本格実施されることになった。具体的には、平成29年3月に公示された新中学校学習指導要領保健体育編において、新たにごん教育について取り扱うことが明記され、第2学年において、がんについて正しく理解すること、健康と命の大切さについて主体的に考えることを目標に、より詳しく「がんの予防」について学習することとなった。また、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるよう配慮することになっている。

#### ② 外部講師の活用について伺う。

→ 厚生労働省から出された、平成29年からの5か年計画である第3期がん対策推進基本計画では、「国は、全国での実施状況を把握した上で、地域の実情に応じて、外部講師の活用体制を整備し、がん教育の充実に努める。」ことが示されている。県では「がん教育外部講師派遣事業」を推進しており、引き続き、市内小・中学校へも情報を提供していく。

## 小金澤優議員（立憲民主とだ）

### 1 通学路における交通指導員について

#### (1) 現在の交通指導員の配置状況について。

##### ① 各学区に何名ずつ配置されているか。

→ 現在、本市では交通指導員を、市内全域で計60箇所配置をしている。各学区別では、交通事情や地域の方の協力状況等によって異なるが、2名から8名の配置を行っている。

##### ② 配置場所について。

→ 配置場所につきましては、各学校から挙げられた、交通事情、歩道の状況、景観や見通し等による危険箇所を総合的に考慮し、決定しているところである。

#### (2) 市内の通学路で危険と思われる箇所を把握しているか。

→ 市内の通学路で危険と思われる箇所については、毎年度、各小学校の校長から、通学路上の危険箇所についての報告を求めている。そのすべての箇所について、小学校の管理職職員と共に、教育委員会職員が現地調査を行って、把握をしている。

#### (3) 今後の増員の予定は。

→ 今後の増員については、必要性や優先順位などを考慮のうえ、予算の範囲内で対応していく。

### 3 本市におけるケアラーへの支援について

#### (3) ヤングケアラーについて

##### ① 市内における実態把握について

→ 学校では、自校の児童生徒の中にも、ヤングケアラーがいる可能性があるという認識に基づき、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど学校に配置している専門性のある人材を介して、ヤングケアラーのみならず、様々な課題を抱えた児童生徒の早期発見に努め、適切な支援につなげている。

## 遠藤英樹議員（みらいの会）

### 1 都市マスタープラン等に基づくまちづくりについて

#### (1) 川岸の田辺三菱製薬跡地に建設予定の大型物流施設に係る諸問題から浮かび上がった、都市マスタープラン等の実現について。

##### ① 人口の急激な変化に伴う小・中学校の受け入れ等について。

→ はじめに、学校の受け入れ規模や中長期的な計画について、お答えする。

教育委員会では、現在、住民登録をしている方の情報を基に、毎年、6年先までの児童生徒数の予測をしている。

その上で、現在の学校における教室不足を予測し、さらに戸田市公共施設健全度調査の結果に基づく改築計画と合わせて、企画財政部と調整し、中期計画をたて、それに基づき教室不足の解消に向けて教室の増改築を行っているところである。

このような、一連のスケジュールは、今までも行ってきたところであり、平成29年度の美女木小学校の仮設校舎増築、平成31年度の新曽中学校教室棟増築、令和2年度の戸田東小・中学校の改築、そして今年度から着工予定の戸田第一小学校の改築、新曽小学校教室棟の増築においても、この計画の中で進めてきたものである。

次に、学区を柔軟に選択・変更できることにより、大型マンション等の大規模な住宅開発を抑制することなく児童生徒の受け入れが可能になるのではないかについて、お答えする。

本市では、令和元年6月に、児童及び生徒の急激な増加に対して、適正な学校規模を保てるよう「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」を定めている。その際に、学校規模の適正化に関する様々なシミュレーションを、事前に行っている。その結果、大型マンション等の建設による小・中学校に通う児童・生徒の急激な増加予測数は、たとえ柔軟に通学区域の設定をしても、現在の過大規模学校の解消には繋がらないという結果となっている。

こうしたことから、小・中学校の受け入れについては、引き続き、中学校においては学校選択制を導入しつつ、現在の要綱に基づいて児童・生徒数を適正に管理することや、計画的な増改築により健全な教育環境を確保していく。

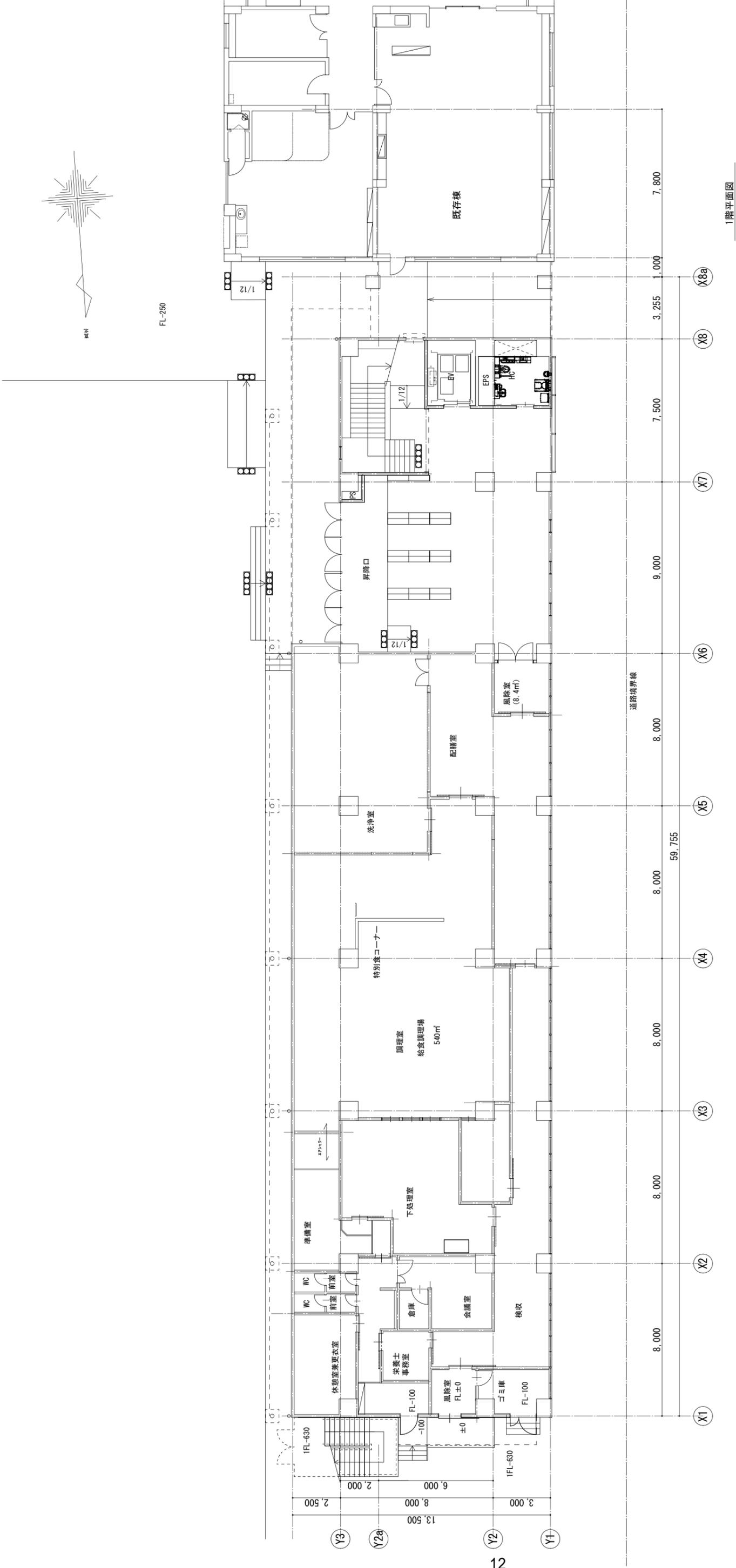
芦原小学校教室棟（含給食調理場）増築等工事 基本設計書



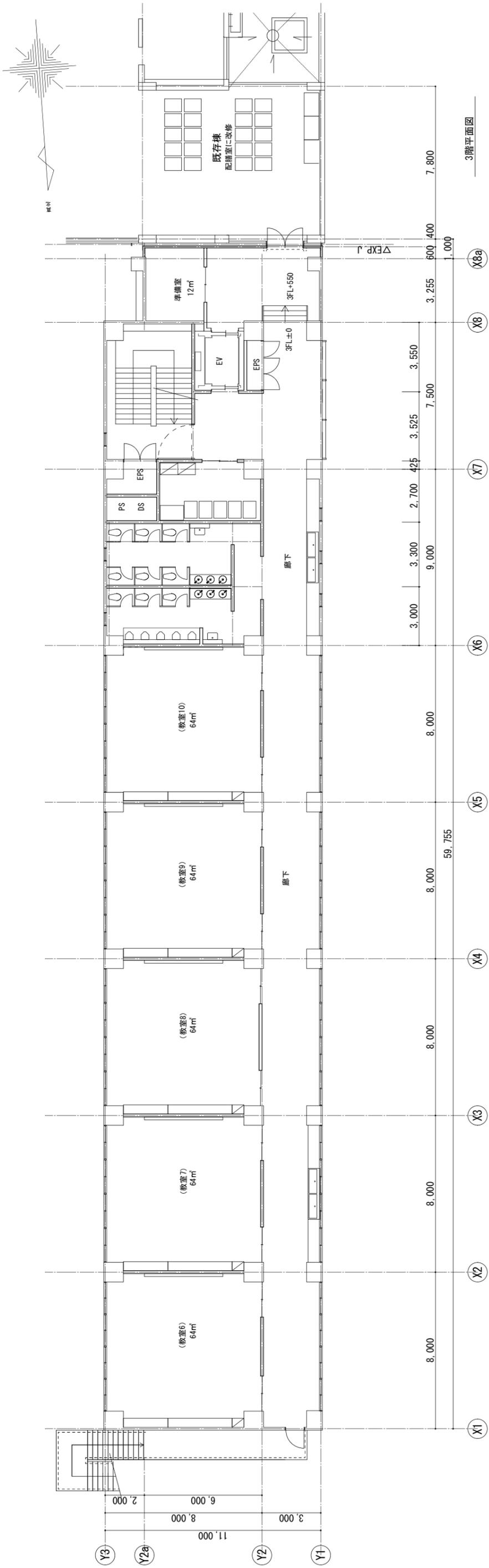
計画概要

面積表	既存建物						増築建物			
	既存建物1 校舎	既存建物2 自転車置場	既存建物3 倉庫	既存スロープ 解体面積	既存建物合計	増築建物 校舎	敷地内建物合計	EV面積	容積率算定面積	
棟別	校舎	RC造	RC造			RC造				
構造	一部 S造、SRC造	地上1階	地上1階			地上3階				
階数	地上4階	2.32m	2.32m							
最高高さ	16.608									
建築面積	5,141.81	20.41	23.89	-51.67	5,186.11 m2	793.153	5,979.26 m2			
床面積	4階(増築棟塔屋)	149.57	-	-	149.57 m2	80.134	229.70 m2			
	3階	3,066.87	-	-	3,066.87 m2	644.788	3,711.66 m2	7,200	637.588 m2	
	2階	3,242.35	-	-	3,242.35 m2	644.788	3,887.14 m2	7,200	637.588 m2	
	1階	4,649.27	36.43	23.89	-76.92	4,709.59 m2	708.538	5,418.13 m2	7,619	700.919 m2
	棟別計(m <sup>2</sup> )	11,108.06	36.43	23.89	11,168.38 m2	2,078.248	13,246.63 m2	22,019	2,056.229 m2	

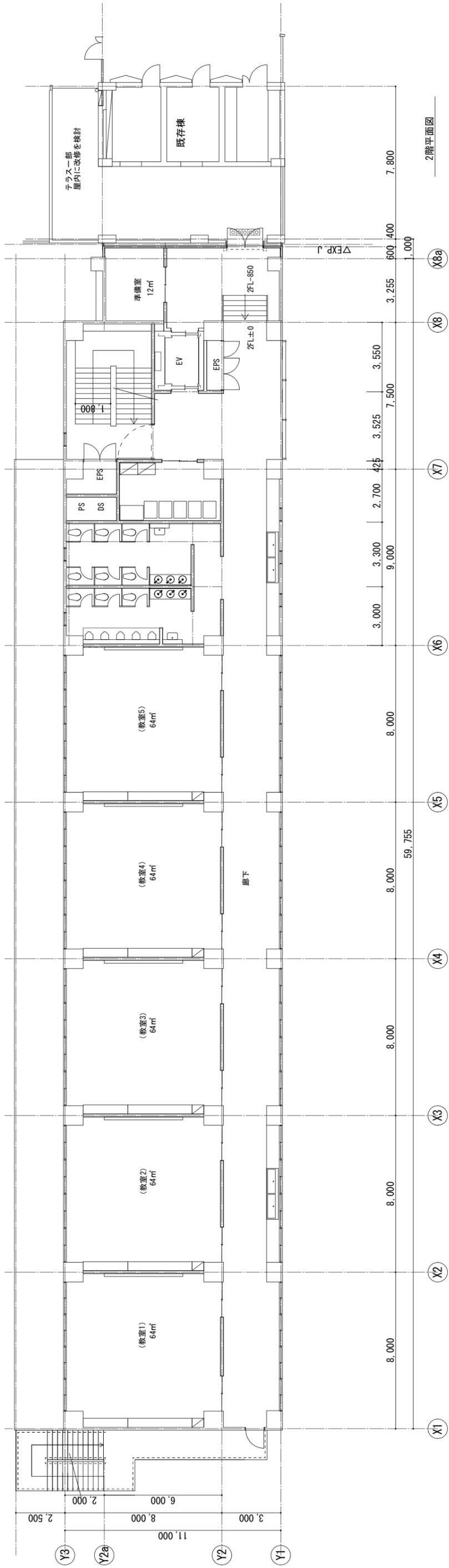




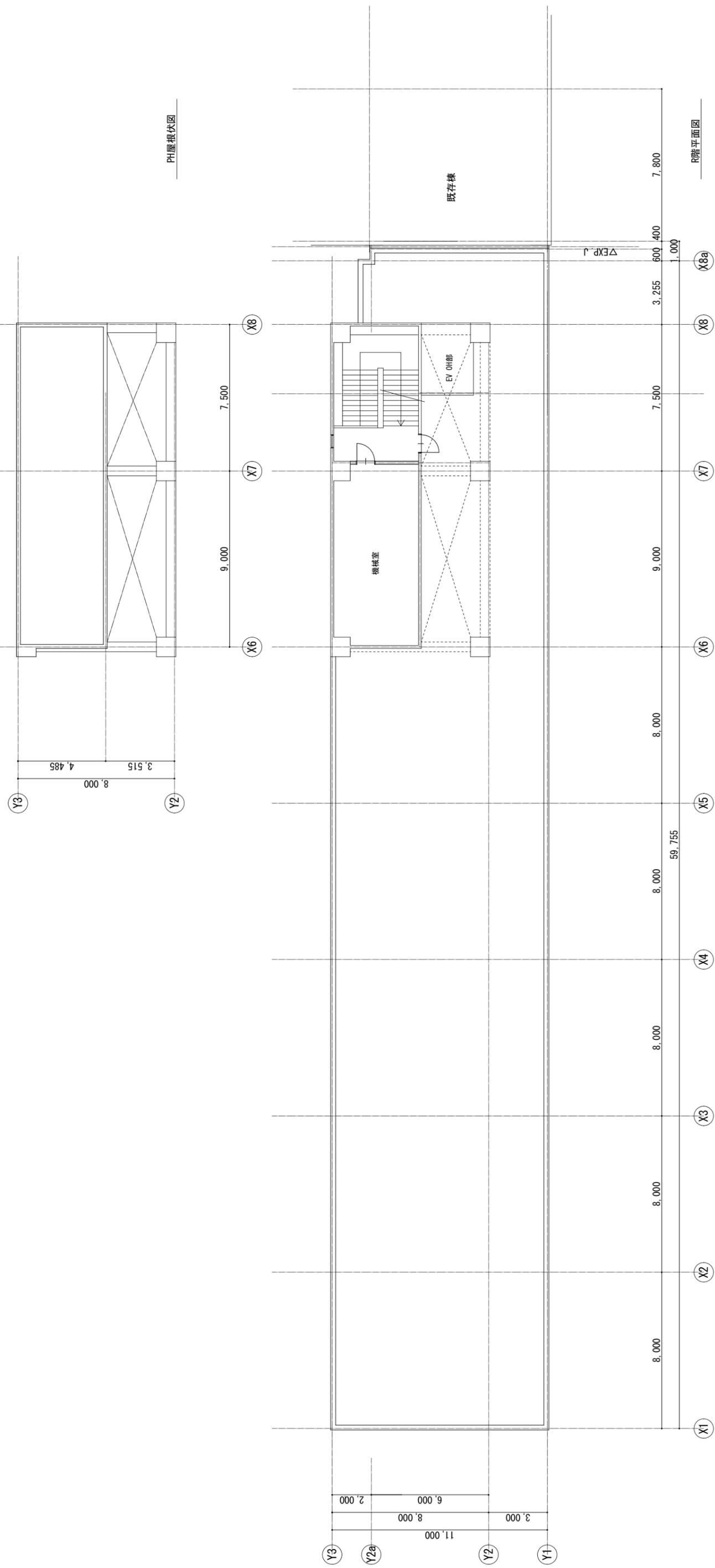
1階平面図

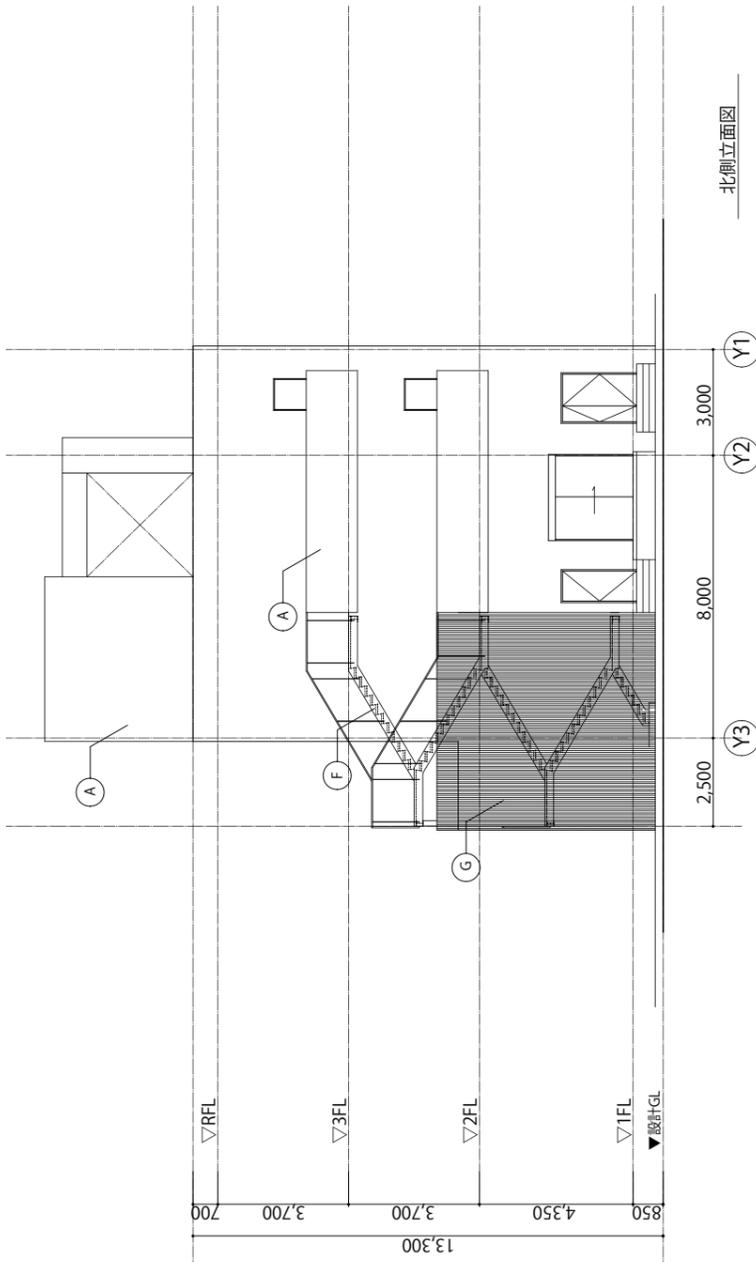


3階平面図

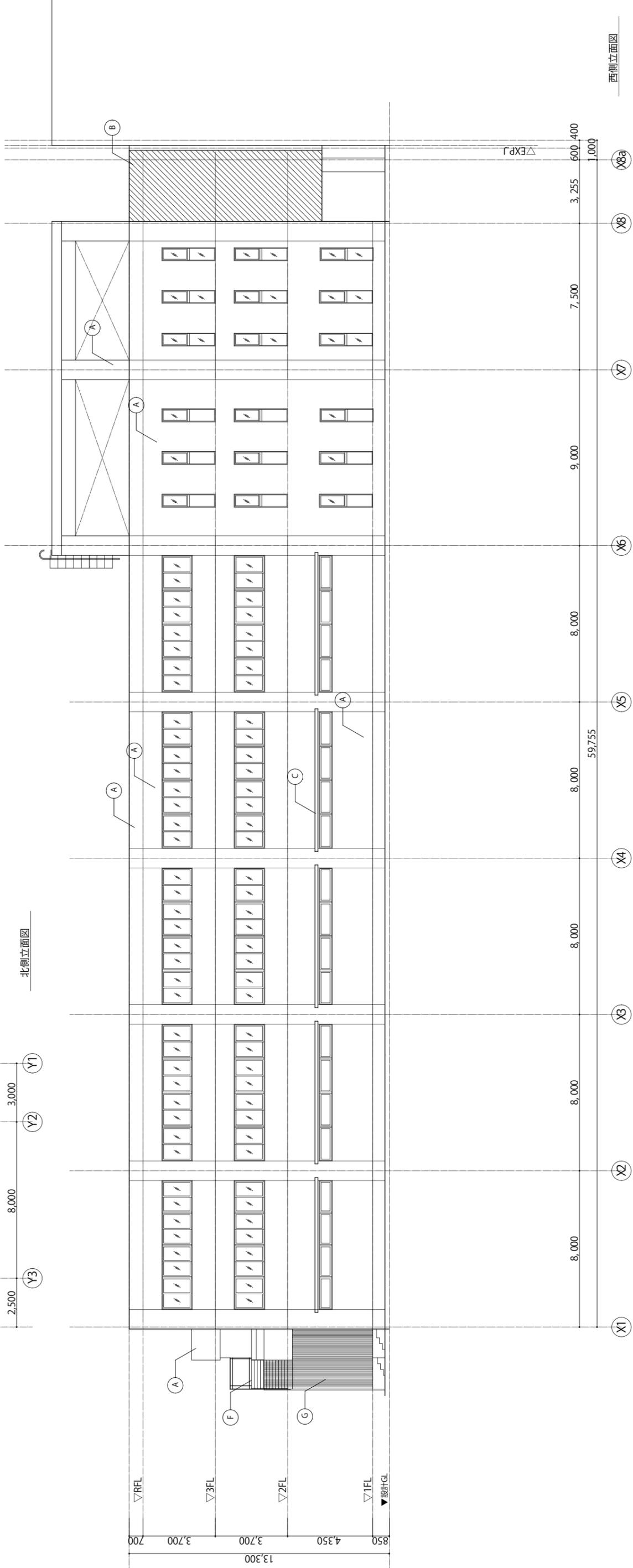


2階平面図





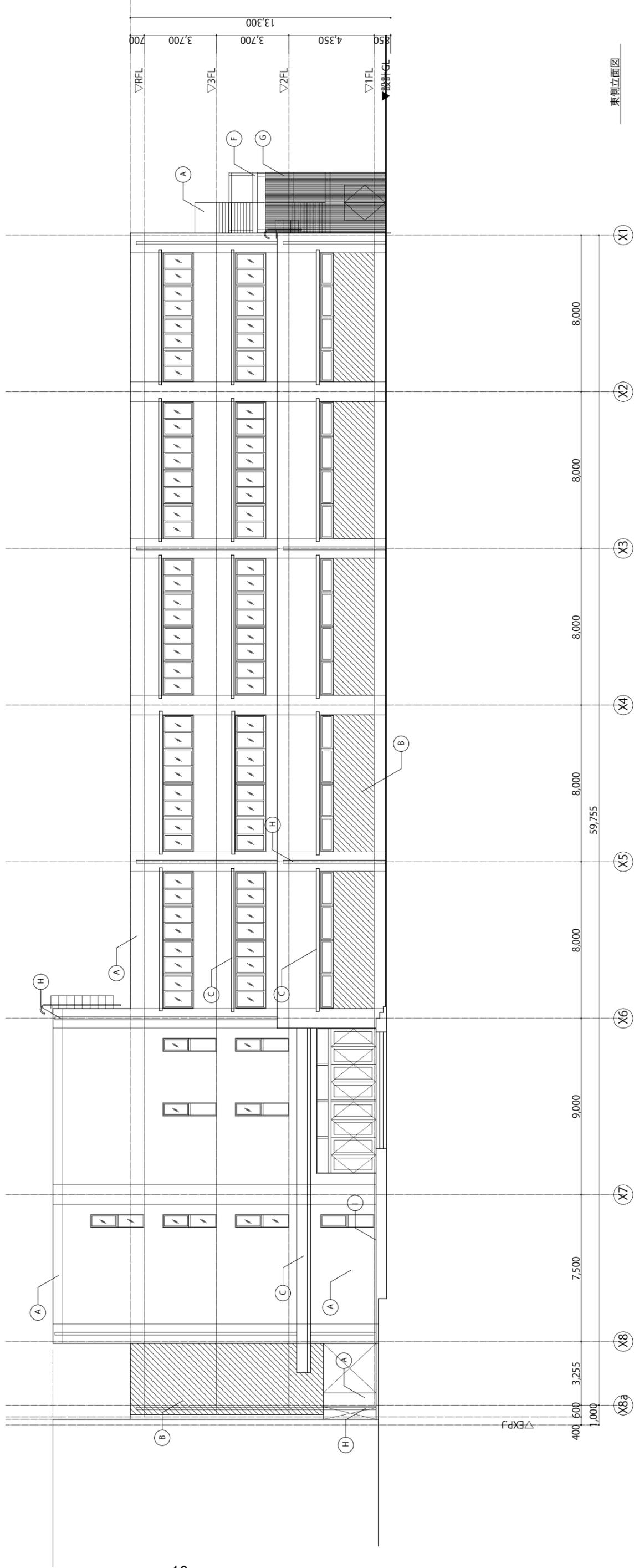
北側立面図



西側立面図

(A)	コンクリート打放 透明撥水材	(F)	鉄骨階段 浴槽鉛メッキ (手摺とも)
(B)	コンクリート打放 色付き撥水材	(G)	目隠しルーバー 浴槽鉛メッキ
(C)	コンクリート庇 色付き撥水材	(H)	壁紙 (Φ150塩ビ製)
(D)		(I)	インターロックキングブロック 200角
(E)		(J)	

(A)	コンクリート打放 透明撥水材	(F)	鉄骨階段 溶融亜鉛メッキ (手摺とも)
(B)	コンクリート打放 色付き撥水材	(G)	目隠しルーバー 溶融亜鉛メッキ
(C)	コンクリート庇 色付き撥水材	(H)	壁種 (φ150塩ビ製)
(D)		(I)	インターロッキング 200角
(E)		(J)	







改修範囲

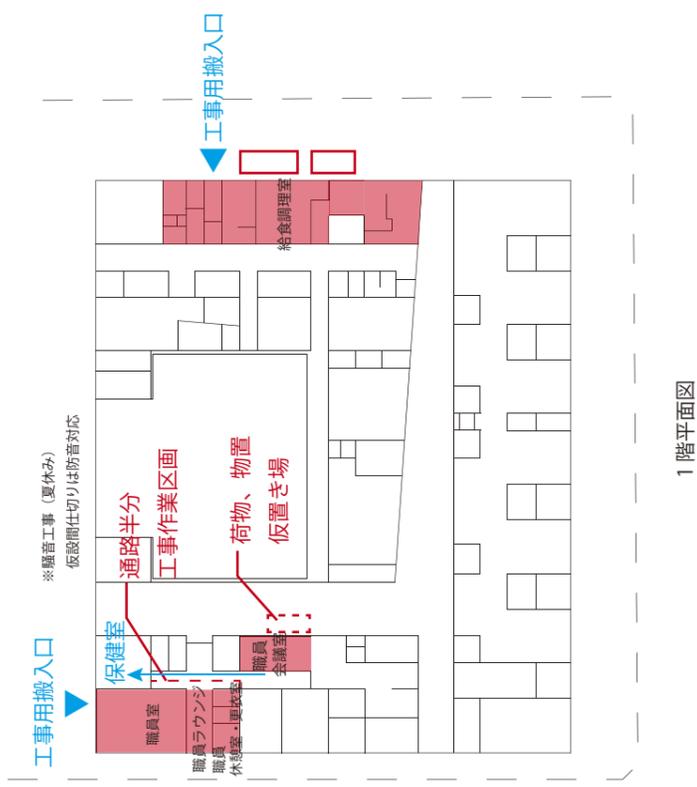
1. スロープ解体 R04.11. ~ R04.12. ※騒音作業



2. 増築棟工事 (接続部含む) R05.01. ~ R06.01



3. 既存解体、改修 R06.07. ~ R06.10.





## 令和3年度の教科書採択事務処理について

### 1 教科書採択の特例（概要）

- ・令和2年度教科書検定において、中学校 社会（歴史的分野）の自由社「新しい歴史の教科書」が、再申請（教科用図書検定規則による）による検定を通過。
- ・このような場合、教科書無償措置法第14条、同施行令第15条2項、同施行規則第6条3号により、採択権者の判断により採択替えをすることが可能。

### 2 2初教67号令和3年3月30日付け文科省初等中等教育局教科書課長通知

「令和4年度使用教科書の採択事務処理について（通知）」より 抜粋

- ・採択替えを行う際には以下（ア）から（カ）に留意が必要。

- （ア）採択替えを行うことができるのは、**新たに発行されることとなった教科書の種目のみ**であり、その他の種目の教科書について、採択替えを行うことはできないこと。
- （イ）**採択替えを行うか否かは、採択権者の判断によるべきものであること。**その際、**都道府県教育委員会において行う新たに発行されることとなった図書についての調査研究（下記（カ））の結果のほか、令和2年度における採択の理由や検討の経緯及び内容等を踏まえて判断**することも考えられること。
- （ウ）新たに発行されることとなった教科書の種目の全ての教科書について、採択権者において改めて調査研究等を行った結果、採択している教科書又は新たに発行されることとなった教科書以外の教科書に採択替えすることも可能であること。
- （エ）上記を含めて採択替えを行う場合には、無償措置法の規定の趣旨に則り、教科書採択の公正性・透明性を確保する観点から、採択結果及びその理由をはじめとする教科書の採択に関する情報の積極的な公表に取り組み、採択に関する説明責任を果たすことが必要であること。
- （オ）採択替え後の教科書を採択する期間は、同一の教科書を採択しなければならない期間として無償措置法施行令第15条第1項に規定する4年間から採択替え前の期間を控除した期間であること。
- （カ）都道府県教育委員会においては、無償措置法第10条の規定に基づき、新たに発行されることとなった図書について調査研究を行うこと。その際、具体的な実施方法については、各都道府県教育委員会において、その実情を踏まえて適切に判断されるべきものであること。

### 3 参考法令

#### ○義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条

##### (同一教科用図書を採択する期間)

義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。

#### ○義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 15 条

##### (同一教科用図書を採択する期間)

法第 14 条の規定により種目ごとに同一の教科書を採択する期間は学校教育法附則第 9 条に定める場合を除き、4 年とする。

2 採択期間内において採択した教科用図書（以下この条において「既採択教科用図書」という。）の発行が行われないこととなつた場合その他の文部科学省令で定める場合には、新たに既採択教科用図書以外の教科用図書を採択することができる。

#### ○義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行規則第 6 条

##### (同一教科用図書の採択の特例)

法第十四条の規定により種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間についての令第十五条第二項の規定により文部科学省令で定める場合は、教育課程の基準の変更に伴い採択した教科用図書の発行が行われないこととなつた場合及び次の各号に掲げる場合とし、同条第三項の規定により文部科学省令で定める期間は当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める期間とする。

三 教科用図書検定規則（平成元年文部省令第二十号）第十二条の規定による再申請（同条に規定する検定審査不合格の決定の通知に係る申請図書について、当該通知を受けた年度の翌年度に行われたものに限る。）により文部科学大臣の検定を経て、新たに発行されることとなつた教科用図書がある場合 当該再申請が行われた年度に採択された教科用図書を採択していた期間

#### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条 6 項

##### (教育委員会の職務権限)

教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

六 教科書その他の教材の取扱いに関すること。

※採択権限の根拠

#### ○教科用図書検定規則第 14 条

##### (不合格図書の再申請)

申請図書又は修正が行われた申請図書について、第七条第一項又は第十条第二項若しくは第三項の検定審査不合格の決定の通知を受けた者は、その図書に必要な修正を加えた上、文部科学大臣が別に定める期間内に再申請することができる。

※再申請の期間は、教科用書検定規則実施細則第 2 の 7 により、検定審査不合格の決定を行った年度の翌年度の 6 月 1 日から 6 月 10 日までの期間

## 1 令和2年度埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会 選定審議における協議要旨

- ・単元の学習が構造化され、生徒が段階的に課題解決したり、見通しをもって学習に取り組んだりするための工夫があるか
- ・内容のまとまりを通して資質・能力を身に付けさせる工夫があるか
- ・日本の伝統と文化の多様性に気付き、その継承者としての資質・能力を育む工夫があるか
- ・生徒が思考を整理し、自らの考えを表現できる工夫があるか
- ・高等学校への接続の工夫があるか
- ・社会3分野の連携（レイアウト、関連のマークなどの工夫）を図る工夫があるか
- ・現代的な諸課題を意識して学習を進める工夫があるか
- ・歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫があるか
- ・デジタルコンテンツに工夫はあるか

## 2 令和2年8月 戸田市定例教育委員会 委員発言要旨採択理由

- ・どの世代の先生も子供たちも使いやすいものか
- ・新学習指導要領が目指す自ら学び続ける子供の育成に資するものか
- ・補助資料や時代に応じたデジタルコンテンツなどが充実しているか

## 3 令和2年8月 戸田市教科書採択理由（社会「歴史的分野」）

### R2 採択理由

一つの事象を地理・歴史・公民の視点から考察したり説明したりできるよう工夫されている。また、教科書を貫く五つのテーマとして「環境・エネルギー」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」が構成されており、他分野との関連を図りながら現代的な諸課題を意識して学習を進めていくことができる。

参考資料

令和4年度使用中学校用教科用図書  
社会（歴史的分野）

調査資料

埼玉県教育委員会

## 社会科（歴史的分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるように、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるように、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習効果を高めるために、資料には、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）に、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 歴史</h1>	2 東 書
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「チェック&amp;トライ」で構成されている。また、小学校の学習事項が年表に位置付けられている。            ○学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」が設けられている。また、身に付けた技能を活用する「読み取る」「まとめる」などのコーナーが設けられている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○見開きのまとめ「チェック&amp;トライ」では、学習内容の説明や要約、原因や結果をまとめたりする等、事象を解釈して表現できるように工夫されている。            ○章末「まとめの活動」では、「クラゲチャート」、「Xチャート」、「ピラミッドストラクチャ」等の思考を整理するツールを活用した学習活動が設けられている。            ○「見方・考え方」のコーナーを設けたり、マークを付したりすることで、歴史的な見方・考え方を働かせてより深く思考・判断できるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○1単位時間の学習で追究する学習課題を示し、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められるように工夫されている。            ○生徒キャラクターの会話で、生徒が探究課題を主体的に解決するヒントが示されている。また、思考を整理するための思考ツールが提示されている。         </p> <p> <b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>            ○各時代の導入に小学校の振り返りと小集団の協働的な活動が設けられ、単元全体を貫く「探究課題」を立てて、学習に見通しをもたせるように工夫されている。            ○章末「まとめの活動」では、「探究のステップ」が設けられ、見開きごとの活動が段階的に「探究課題」の解決へとつなげられるように構成されている。            ○「みんなでチャレンジ」では、対話的な学習の場面が設けられ、持続可能な社会の実現に向けて構想し、積極的に社会参画したり、他者と協働したりしながら、より良い社会を築こうとする意識や態度を養えるように工夫されている。         </p>	
資 料	<p>           ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や探究の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。            ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典・所蔵のほか、資料の大きさが記されている。            ○Dマークや二次元コードを付し、インターネットを使った学習ができるように工夫されている。         </p>	
表記・表現	<p>           ○本文などには、UDフォントが使用されている。            ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。            ○見開きで学習している時期を示すスケールが入れられている。また、地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。            ○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。         </p>	
総 括	<p>           ○教科書の紙面は、A B版が採用されている。            ○教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進めることができるように配慮されている。         </p>	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 歴史 未来をひらく</h2>	<div style="text-align: center;">17</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きを1単位時間とし、本文、資料、学習活動で構成されている。また、本時の学習をまとめる「確認」と「表現」が設けられている。</li> <li>○絵や写真、新聞、地図や系図等の学習の中で活用する資料について、資料活用の方法や手順を示している「歴史の技」が設けられている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きのまとめ「表現」では、学習内容を自分の言葉で説明したり、対話したりすることで事象を解釈して、表現できるように工夫されている。</li> <li>○「歴史の窓」やテーマ学習のページでは、個人やグループで歴史的事象について多面的・多角的な思考や理解を深められるように工夫されている。</li> <li>○章末「学習のまとめと表現」では、時代の特色を言葉で説明する活動が設けられ、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを深められるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入の「学習を始めよう」では、資料が大きく掲載され、生徒が自ら資料を読みながら、章の学習が見通しをもって進められるように工夫されている。</li> <li>○生徒が自ら資料を読み解くために「読み解こう」のコーナーを設け、読み解きのガイドとして活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各時代の導入「学習を始めよう」では、その時代を象徴するような資料とそれに関わる問いが示され、見通しをもって学習が進められるように工夫されている。</li> <li>○本文とは視点を変えてとらえ直す「特設ページ」が設けられ、現代社会の諸課題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。</li> <li>○巻末「歴史学習の終わりに ～歴史を振り返って、未来を構想しよう～」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの上部に学習のきっかけや探究の中心となる、導入資料・中心資料が写真等で大きく掲載されている。</li> <li>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、疑問点や解説が掲載されている。</li> <li>○教科書とウェブサイトをリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」が設けられている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文などには、UDフォントが使用されている。</li> <li>○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。</li> <li>○見開きに「時代スケール」として学習する時代の範囲を色で表し、小学校で学習した人物・中学校で学習する人物が識別できるように工夫されている。</li> <li>○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の紙面は、A B版が採用されている。</li> <li>○教科書全体を通して、人権や平和、環境、災害・防災等、現代社会に見られるさまざまな課題や、それにつながる歴史を取り上げ、自己と社会・歴史とのつながりについて、考えを深められるように配慮されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">社会科 中学生の歴史</h2> <h3 style="margin: 0;">日本の歩みと世界の動き</h3>	4 6 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">帝 国</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;                      ○見開きを1単位時間とし、導入、学習課題、本文で構成されている。また、学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」で構成されている。                      ○歴史的な見方・考え方を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できる「技能をみがく」コーナーが設けられている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○見開きのまとめ「説明しよう」では、学習内容を振り返り、習得した知識を活用して自分の言葉でまとめ、表現できるように工夫されている。                      ○章のはじめに設けられた「問い」は、時代の特色を論理的に説明する際の手がかりとなるように工夫されている。                      ○「章の学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを整理し、話し合い、説明することで学びを深められるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○「タイムトラベル」では、単元のはじめで時代の特色を見通し、本文と関連付けたり、眺め直したりすることで、時代の振り返りができるように工夫している。                      ○中学生のキャラクターが発問や気付き、学習の手がかりや示唆等を提示することで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;                      ○「章の問い」、「節の問い」、「見開きの問い」（学習課題）と単元のまとまりで課題解決的な学習、深い学びにつなげられるように工夫されている。                      ○「章の学習を振り返ろう」では、見開きから節、節から章へと段階的に振り返りを行い、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。                      ○「多面的・多角的に考えてみよう」と「多面的・多角的に構想する」では、社会に見られた課題に対する当時のさまざまな立場や選択を通して考察し、さまざまな立場と多様性を踏まえた社会の成長を構想することを促すように工夫されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。                      ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、学習の手がかりが示されている。                      ○二次元コードを読み込むことで、「タイムトラベル」コンテンツにアクセスしたり、学習の理解を助ける動画等を閲覧できたりするように工夫されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○本文などには、UDフォントが使用されている。                      ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と学習内容を確認・説明するための課題が2つ示されている。                      ○見開きの右端に「年表インデックス」が掲載され、巻頭の日本の歴史年表・巻末の世界史年表と照らし合わせて確認するように工夫されている。                      ○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○教科書の紙面は、A B版が採用されている。                      ○教科書全体を通して、さまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動が設けられたり、歴史上の人々が連携・協働して課題の解決に取り組む姿が紹介されたりして、多面的・多角的に歴史をとらえられるように配慮されている。                 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学歴史 日本と世界</h1>	81 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">山 川</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;                      ○見開きを1単位時間とし、導入の発問、本文、「ステップアップ」による振り返りで構成され、世界史も含めた歴史全体の流れをつかめるようにしている。                      ○「歴史との対話」では、歴史を学ぶための基礎知識と、歴史の調べ方を示し、歴史学習に必要な技術が習得できるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○見開きのまとめ「ステップアップ」では、授業で学んだことを整理し、その後の歴史や現代の自分たちにどう影響したか、考えられるように工夫されている。                      ○「歴史を考えよう」では、美術作品や史料・地図、憲法や選挙等が取り上げられ、話し合いや考察を通して歴史の思考力を養えるように工夫されている。                      ○章末「まとめ」では、時代全体を俯瞰して考えるための問いかけがあり、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを深められるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○「身近な地域を調べよう」では調査の順序、注意事項等を示し、生徒が主体的に取り組めるように工夫されている。                      ○生徒にとって意味の分かりにくい用語に用語解説を付している。同じページに示すことで、理解し易いように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;                      ○学習の見通しをもてるように、各章の冒頭に視覚的に歴史の流れをつかめるような資料を用いたり、見開きの冒頭に学習課題が明示されたりしている。                      ○「身近な地域を調べよう」では、実際の中学生を想定し、調査の順序や注意事項を示して、生徒が主体的に課題を追究することができるように工夫されている。                      ○「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」では、史料の細部をクローズアップしたり発掘調査の結果を踏まえたりすることで、さまざま角度から課題を追究できるように工夫されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。                      ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。                      ○二次元コードを付し、博物館・資料館のホームページサイトや動画を見る等、課題を追究した学習ができるように工夫されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○地図・グラフなどは、UDに配慮されている。                      ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と課題追究のための「ステップアップ」の発問が示されている。                      ○各章のはじめに、章で学ぶ時代の日本と世界の出来事の帯年表が掲載されている。また、章に関係する写真が上下に分けて時代順に示されている。                      ○本文は、常体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○教科書の紙面は、AB版が採用されている。                      ○教科書全体が歴史を学ぶ力を養うために「流れをつかむ」「歴史を考える」「世界史を知る」という3つのポイントで構成されている。また、高校につながる教科書として構成・叙述の流れや資料等が工夫されている。                 </p>	

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学社会 歴史的分野</h2>	1 1 6 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目 文</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;                      ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「確認」で構成され、「確認」では学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されている。                      ○「スキルUP」では、歴史学習を進めるにあたって必要な技能を解説している。社会的事象等について調べ、まとめる技能が身に付けられるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○見開きのまとめ「確認」では、学習内容を理解しているか確認するために、自分の言葉で説明する問いが設けられている。                      ○章末「とらえよう！○○の特色」では、習得した知識を関連させ、時代の特色を考え説明したり、話し合いや意見交換したりする学習活動が設けられている。                      ○見開きの「見方・考え方」では、学習課題の解決に向けた手がかりが示され、「深めよう」では、問いを通して学習課題の理解が深められるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○「歴史との対話を未来に活かす」では、テーマ別さくいんが設けられ、災害・政治参加・世界平和について考える学習課題が示されている。                      ○地域や先人の知恵に学ぶことができるように、身近な地域の歴史や文化財・先人を紹介するコーナーや特設ページが設けられている。                 </p> <p>                     &lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;                      ○各時代の導入では、年表や世界地図を使った時間軸と空間軸から時代を概観し、学習の「めあて」を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。                      ○歴史の学習の最後「『歴史との対話』を未来に活かす」では、課題の解決に向けて歴史をふまえて未来を考える学習活動が設けられている。                      ○「『歴史との対話』を未来に活かす」や「先人に学ぶ」では、現代の課題の背景や人権、環境、平和、防災、減災への先人たちの取り組みを学び、解決の手立てについて生徒が歴史を踏まえて考えることができるように工夫されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○見開きの上部に学習の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。                      ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料の内容を読み取ったり、読み取ったことを基に表現したりする活動が示されている。                      ○教科書内容の理解を助ける動画やワークシートなどの教科書QRコンテンツをウェブサイトで公開し、教科書には「デジタルマーク」が表示されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○本文などには、UDフォントが使用されている。                      ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と手がかり、学習内容を理解するための問いが示されている。                      ○見開きの右端に学習している「時代」を色で示した年表が掲載されている。見開きの下部には小学校で学習した人物や地理・公民との連携が示されている。                      ○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○教科書の紙面は、AB版が採用されている。                      ○教科書全体を「私たちと歴史」「古代までの日本と世界」「近世の日本と世界」「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」の6つに編成し、詳細な学習に陥ることがないように学習内容の焦点化を図るための配慮がされている。                 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい歴史教科書</h1>	2 2 5 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自由社</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きを1単位時間とし、導入、学習課題、本文、「チャレンジ」で構成されている。また、本時で扱うおおよその時期を示した「歴史モノサシ」が設けられている。</li> <li>○章末「復習問題のページ」では、用語についての問いや地図問題に取り組むことを通して、学習してきた知識を身に付けられるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きのまとめ「チャレンジ」では、学習したあと挑戦したいワンポイントの課題が示され、学習内容を自分の言葉で表現するように工夫されている。</li> <li>○章末「対話とまとめ図のページ」では、学習内容を整理したまとめ図をもとにした対話文を読むことを通して、学習内容を振り返るよう工夫されている。</li> <li>○章末「〇〇とはどんな時代だったのだろうか」では、時代比較・人物比較・「ひとこと」作文等を通して、自分の言葉でまとめ、表現するように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「調べ学習のページ」では、資料から課題を見付けたり、情報を調べたりすることで、歴史について関心をもつことができるように工夫されている。</li> <li>○本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物や「知っ得ポイント！」等を掲載し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各時代の導入にその時代を象徴するような資料と小学校で学んだ人物を中心にした「登場人物紹介コーナー」が示され、学習の見通しをもてるように工夫されている。</li> <li>○章末に「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設けられ、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。</li> <li>○巻末「歴史を学んで」では、設定された複数の課題を学習してきた内容を活用して考え、解決することを通して日本の歴史の特色を捉えられるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。</li> <li>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、疑問点や解説が掲載されている。</li> <li>○生徒が興味・関心をもって読み進められるように、学習内容に関連したコラム「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」などが設けられている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図版は、色覚特性に配慮されている。</li> <li>○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習のまとめの2つの課題が示されている。</li> <li>○見開きの左端に「歴史モノサシ」が掲載され、その単元で扱うおおよその時期を示し歴史の大きな流れと現在の学習範囲が確認できるように工夫されている。</li> <li>○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の紙面は、AB変型判が採用されている。</li> <li>○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるための「もっと知りたい」や歴史上の人物の功績について触れる「人物クローズアップ」等のコラムが設けられ、学習に具体性や発展性をもたせるように配慮されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">[最新] 新しい日本の歴史</h2>	227 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">育鵬社</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成され、つかむ、調べる、まとめる、表現するという配列になっている。</li> <li>○「地域の歴史を調べてみよう」では、身近な地域の歴史の情報を収集し、レポートにまとめ、発表するという方法が示されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの学習のまとめでは、学習内容をレポートや論述形式でまとめたり、解釈したりする問いが設けられている。</li> <li>○『私の歴史博物館』をデザインしてみよう』では、展示方法を考えさせることで、資料から情報を効果的に調べ、まとめられるように工夫されている。</li> <li>○章末「学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色を自分の言葉や図で表現する学習活動が設けられている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○序章「歴史探検！」では、歴史を学ぶ意欲が高まるように、小学校での学習を振り返ったり、特定の人物について調べ、まとめ、発表したりする活動が設けられている。</li> <li>○「歴史のターニングポイント」では、生徒が、「もし、その時、私が当事者だったら」という意識で、歴史と向き合えるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見通しをもちながら学習を進めることができるように、見開きごとに資料を使い問題解決できるような学習課題が明示されている。</li> <li>○各章冒頭の「〇〇の世界へようこそ！」では、課題と主体的に向き合うための設問が設けられ、歴史に関わる諸事象についての課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。</li> <li>○巻末「歴史学習のまとめ」では、学習した内容を活用して、日本の歴史を大観し、表現する学習活動が設けられている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。</li> <li>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。導入資料には発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。</li> <li>○「日本の美の形」「歴史絵巻」等のページは、生徒が視覚的に興味をもって取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図版は、色覚特性を踏まえた判別しやすい色が使われている。</li> <li>○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習のまとめの二つの課題が示されている。</li> <li>○各章の章扉に「歴史絵巻」「歴史モノサシ」が掲載され、歴史の大きな流れと現在の学習範囲が確認できるように工夫されている。</li> <li>○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の紙面は、A B判が採用されている。</li> <li>○学習内容の理解をより深める「歴史ズームイン」、多面的・多角的に考える視点を提示する「歴史ビュー」、歴史上の人物の活躍を紹介する「人物クローズアップ」等のコラムが設けられ、学習に具体性や発展性をもたせるように配慮されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">ともに学ぶ人間の歴史</h1>	229 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学び舎</span>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○章の扉のページで部の学習課題があり、章のあと・部のおわりに章をふりかえる・部の学習のまとめが設けられている。</li> <li>○「地域の博物館で調べる」でインターネットや博物館を利用した調べ学習・体験者からの聞き取り・討論の方法等が紹介されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特設ページ「歴史を体験する」では、活動を通して考えたことを話し合ったり、発表したりする問いが設けられている。</li> <li>○「章の振り返り」では、歴史事象をさまざまに関連付けさせたり、意見交換をさせたりして、グループ活動等を通して深められるように課題が設定されている。</li> <li>○「部の学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、各時代の特色を多面的・多角的に考察し、学びを深められるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特色のある図版と記述等から疑問や問いが生まれるように工夫されている。また、本文の太字をなくしている。</li> <li>○章の扉のページに北極を中心とした地図を置き、テーマに沿って世界各地のようすを想像・予想できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各時代の導入として、扉ページで各時代の「学習課題」が示されており、学習を進めながら時代の特色を考えていく構成になっている。</li> <li>○現代史を充実させ、歴史を今日の課題と結びつけ、より良い社会の実現に向けて考えられるように公民学習につなげられるように工夫されている。</li> <li>○現代史の学習では、21世紀までテーマを設定し、歴史的な事象を今日の社会と結びつけ、より良い日本の社会と世界の実現を視野に、さまざまな社会の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。</li> <li>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典・所蔵が掲載されている。</li> <li>○側注・グラフ・資料等から、歴史的な事象や課題について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図・グラフは、色覚特性に配慮されている。</li> <li>○見開きの見出しは、太字で表記されている。見開きに生徒の関心を引き出すタイトルと見通しをもつための学習課題が示されている。</li> <li>○巻末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。</li> <li>○本文は、敬体で記され、学年に応じた文章表現や漢字が使用されている。資料には、見開きで通し番号が付けられている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の紙面は、A判が採用されている。</li> <li>○生徒の主体的な学びの実現を目指した図版や記述の工夫がされている。女性や子ども等、さまざまな分野・階級の人びとの生活を学ぶことで、誰もが個人として尊重し合える社会について考えを深められるように配慮されている。</li> </ul>	

## 社会科（歴史的分野） 調査資料 2

○内容別ページ数 ※教科書に記されているページ数の内訳を数えたもの

内容		東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎
A	(1) 私たちと歴史	10	9	7	3	11	8	13	6
	(2) 身近な地域の歴史	16	19	31	19	11	8	10	4
B	(1) 古代までの日本	42	40	42	44	48	50	50	44
	(2) 中世の日本	34	34	34	38	40	36	34	32
	(3) 近世の日本	48	48	48	50	50	42	52	48
C	(1) 近代の日本と世界	98	104	96	97	99	104	98	110
	(2) 現代の日本と世界	32	37	30	28	44	34	38	34
その他（資料ページ・索引）		28	27	22	15	31	30	23	30
総ページ数		308	318	310	296	336	312	320	308

※総ページ数は目録に記載されたページ数

### ○基礎・基本の定着

#### (1)取り上げている日本の歴史上の人物数（索引から）

※日本において我が国の歴史とかかわった外国人を含む。

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎
古代まで	32	35	29	32	29	34	44	25
中世	65	59	52	59	48	60	55	44
近世	69	79	51	83	47	87	104	51
近代	102	119	113	96	93	108	131	72
現代	29	31	33	17	13	26	45	23
合計	297	323	278	287	230	315	379	215

#### (2)我が国の歴史的背景として取り上げている世界の歴史のページ数

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎
古代まで	10	12	10	14	17	8	6	18
中世	2	2	0	4	2	2	2	6
近世	6	6	6	10	6	4	4	8
近代	24	24	20	26	22	10	14	34
現代	4	6	2	6	8	0	4	10
合計	46	50	38	60	55	24	30	76

（世界の歴史を中心に構成されたページを数えたもの）

## ○言語活動の充実

### (1)各時代を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する学習

東書	○古代：古代日本のキーパーソンはだれだろう／○中世：古代との比較から中世の特色を探ろう／○近世：近世で最も活躍した身分はどれだろう／○近代：日本と世界との結び付きを考えよう、戦争へのターニングポイントは何だろう／○現代：現在の日本を形作ったものは何だろう
教出	○各章：学習のまとめと表現(○○の時代の移り変わりを確かめよう。○○の舞台を地図で確かめよう。○○について説明しよう。○○の時代の特色を考えよう。)
帝国	○各章：章の学習を振り返ろう(学んだ事を確かめよう。歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を説明しよう)
山川	○各章：まとめ
日文	○古代：「文字の変化」／○中世：「法」／○近世：「幕府の収入」／○近代「明治政府の政策」「戦争」／○現代：「復興と成長の源」に着目して、時代の特色にせまろう
自由社	○各章：時代の特徴を考えるページ(○○とはどんな時代だったのだろうか)
育鵬社	○各章：学習のまとめ(○○○の時代をふり返って考えてみよう)
学び舎	○各章：第○章をふりかえる／学習のまとめ／歴史を体験する

## ○社会に参画する資質・能力の育成

### (1)身近な地域の歴史を調べる活動(具体的な事項)

	内容
東書	「地域の歴史を調べよう」(大陸への玄関口・福岡／戦国時代の城下町・一乗谷／会津藩の政治と産業／多文化共生都市・神戸／東京大空襲の記憶を伝える／広島復興と平和への思い)
教出	「身近な地域の歴史を調べよう」(地域の遺跡や古墳を訪ねて／地域の寺社を訪ねて／地域の街道や港を訪ねて／明治期の面影を訪ねて／大正・昭和初期の面影を訪ねて／移り変わる戦後の街を訪ねて)
帝国	「歴史を探ろう」(古墳から分かる当時の様子／東アジアに開かれた窓口 博多／琉球とアイヌの人々の暮らし／昆布ロードと北前船／世界有数の百万都市 江戸／世界に開かれた港 横浜／移住と開拓が進む北海道／「絹の道」と日本の製糸業／発展する産業都市 大阪・神戸／長野県から見る満州移民／戦場となった沖縄)
山川	「地域からのアプローチ」(奈良／福岡／平泉／金沢／札幌／広島／沖縄)
日文	「でかけよう！地域調べ」(史跡見学に行こう 平城宮跡を歩く－奈良県奈良市－／歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる－広島県福山市－／城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べる－兵庫県姫路市－／近代化遺産を訪ねよう 富岡製糸場を調べる－群馬県富岡市－／戦争遺跡を訪ねよう 大阪の空襲を調べる－大阪府大阪市－／地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べる－福岡県北九州市－)
自由社	「地域の歴史を調べる」(堺市の歴史を調べよう A班 古墳を調査 B班 港を調査 C班 千利休の屋敷跡を調査 D班 港を調査)／ 「調べ学習のページ」(歩いてみよう！江戸のまち／日本の近代産業発祥の地 長崎)
育鵬社	「地域の歴史を調べてみよう」(大阪の歴史・ワクワク調査隊／横浜の歴史・ワクワク調査隊)
学び舎	「地域の博物館で調べる」／「歴史を体験する」(地域の歴史を歩く／一人ひとりの歴史・家族の歴史)

○埼玉県の歴史的事象 ※資料の出典が、埼玉県内の博物館等に所蔵されているものを含む。

	内容
東書	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／長善館（川越藩校）／渋沢栄一／1号機関車／秩父事件／増税に泣く国民／旧国名地図（武蔵）／各地の主な史跡（埼玉古墳群・吉見百穴）
教出	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／増税に泣く国民／渋沢栄一／原爆の凶／各地の主な遺跡・史跡・できごと（高麗神社・吉見百穴・鉢形城跡）
帝国	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／職人尽絵／主な大名の配置（阿部）／江戸時代の交通・関所（栗橋）／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／重税に苦しむ国民／渋沢栄一／東京停車場之凶
山川	稲荷山古墳出土の鉄剣／古代の行政区画（武蔵）／太平記絵巻／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一
日文	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／律令国家における行政区分（武蔵）／江戸時代の主な都市・城下町（岩槻）／黒船を見学する民衆／渋沢栄一／秩父事件／100年ほど前の田園調布（渋沢栄一らが開発）
自由社	稲荷山古墳出土の鉄剣／鍛冶職人「職人尽絵」／荒川堰／江戸初期の主な大名の配置（阿部）／廃藩置県による新しい府県（入間・埼玉）／渋沢栄一／ノーベル賞・梶田隆章／鉄道博物館
育鵬社	人形埴輪／稲荷山古墳出土の鉄剣／前方後円墳の分布（稲荷山古墳）／男衾三郎絵詞／職人尽絵／江戸時代の城下町（岩槻）／宗門改帳／大工職人たち／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／秩父事件／ノーベル賞・梶田隆章／各地の主な遺跡（吉見百穴・埼玉古墳群）
学び舎	農夫のはにわ／稲荷山古墳出土の鉄剣／平城京までかかる日数（武蔵）／千早城に立てこもる楠木正成軍／古代アンデス文化の土器／綿花の主な生産地（武蔵）／黒船を見物する人々／武州世直し一揆／廃藩置県（入間・埼玉）／最初の切符／歴史地図（秩父事件・稲荷山古墳）

教義指第195号  
令和3年5月13日

各市町村教育委員会教育長  
各私立小・中・高・特別支援学校長  
埼玉大学教育学部附属小・中・特別支援学校長  
筑波大学附属坂戸高等学校長  
各県立中・高・特別支援学校長  
各教育事務所長

様

埼玉県教育委員会教育長

令和3年度における教科書展示会の開催について（通知）

標記の件について、教科書の発行に関する臨時措置法（昭和23年法律第132号）第5条に基づき、下記のとおり開催します。

ついては、所属教職員等が展示会に出席し、教科書研究が行えるよう御配慮をお願いします。併せて、開催会場等について保護者や地域等への周知を御配慮くださるようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により、下記のとおりを実施することが難しい状況になることもありますので、御了承ください。

記

- 1 開催趣旨 (1) 小・中・高等学校、特別支援学校の校長、教員及び採択関係者の教科書の調査・研究に資する。  
(2) 保護者及び県民の教科書への理解を図る。
- 2 開催日 令和3年6月11日（金）から14日間  
※会場により、開催日時が異なりますので、別紙をご覧ください。
- 3 会場等 別紙のとおり
- 4 その他 別紙「令和3年度 埼玉県教科書展示会 会場一覧」は、義務教育指導課 web ページにも掲載します。  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/902-2009128-94.html>  
※適宜更新します。

担当 市町村支援部  
義務教育指導課 教科書担当  
電話 048-830-6746  
FAX 048-830-4962

令和3年度 埼玉県教科書展示会 会場一覧

- 開催期間は、令和3年6月11日(金)から7月18日(日)までのいずれか14日間以上です。(会場により、開催日時が異なります。)
- 各展示会場へは、開催時間終了30分前までに入場するようにしてください。
- 展示対象において、「小」は小学校用、「中」は中学校用、「高」は高等学校用、「特」は特別支援学校用(一般図書)を表します。
- 各展示会場とも、駐車場がないか、あっても駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関の利用に御協力をお願いします。なお、駐車場の有無の有料です。
- 展示会場もしくは所管する教育委員会の電話番号を明記してありますが、展示会場の事情や土曜日・日曜日においては、電話対応ができない場合がありますので御了承ください。

展示会場名(所在地) 【電話番号】	6月							7月							開催時間等			
	小	中	高	特	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14	15
第19 埼玉県立総合教育センター (行田市富士原町2-24) 【048-556-3487】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:00~18:00 土曜日は17:00まで
さいたま市立中央図書館 (さいたま市浦和区東高砂11-1 コムナーレ8階) 【048-871-2100】 ※駐車場は有料です	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	13:30~20:30 土・日曜日は10:30~17:30 6/25(金)13:30~17:30
第1 さいたま市立教育研究所 (さいたま市浦和区岸町6-13-15) 【048-838-0781】 ※駐車場はありません	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:15
さいたま市立大宮小学校 (さいたま市大宮区大門町3-3) 【048-641-7051】 ※駐車場はありません	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:00~17:00 土曜日は12:30まで
第2 川口市立教育研究所 (川口市芝園町3-17) 【048-267-8208】※敷地内工事のため、駐車場の用意ができません。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~19:00 土・日曜日は17:00まで、6/25(金)は16:00まで
第3 草加市立中央図書館 (草加市松原1-1-9) 【048-946-3000】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	12:00~19:00 土・日曜日は9:30~16:30
第4 戸田市立教育センター (戸田市上戸田1-19-14) 【048-434-5660】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00
第5 和光市中央公民館(和光市中央1-7-27) 【048-464-1123】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	12:00~20:00 土・日曜日は9:00~17:00
第6 新座市立中央公民館 (新座市道場2-14-12) 【048-477-7142】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	火・水曜日は10:00~18:00、木・金曜日は11:00~19:00 土・日曜日は9:00~17:00、7/1(木)は9:00~12:00まで
第7 鴻巣市立教育支援センター(鴻巣市関新田1281-1) 【048-569-3181】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00
第8 上尾市文化センター (上尾市二ツ宮750) 【048-774-2951】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	11:00~18:00 6/24(木)は14:00まで
第9 川越市立教育センター (川越市大字古上6083-10) 【049-235-7591】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00
第10 三芳町役場 (三芳町藤久保1100-1) 【049-258-0019】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:00~17:00(12:00~13:00は閉館) 7/3(土)は12:00まで
第11 坂戸市立教育センター (坂戸市伊豆の山町17-1) 【049-281-2736】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:30~17:30 土曜日は10:00~13:00まで
第12 所沢市立教育センター (所沢市けやき2-44-2) 【04-2998-9167】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~18:00 土曜日は12:30まで
第13 飯能市立飯能第一小学校 (飯能市山手町13-8) 【042-972-4147】※駐車場は、飯能市立図書館横にある山手町用地を使用	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00(12:00~13:00は閉館) 6/12(土)は10:00~13:00(12:00~13:00も閉館)
第14 東松山市立松山第一小学校 (東松山市松葉町1-1-16) 【0493-22-0050】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00(12:00~13:00は閉館)
第15 秩父市歴史文化伝承館 (秩父市熊木町8-15) 【0494-22-2446】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00 土・日曜日は15:00まで
第16 本庄市立図書館 (本庄市千代田4-1-9) 【0495-24-3746】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	11:00~18:00
第17 熊谷市立熊谷西小学校 (熊谷市中央1-1) 【048-521-0016】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:35~17:10 土・日曜日は9:30~12:25、6/25(金)14:30まで。
第18 深谷市立教育研究所 (深谷市本住町12-8) 【※深谷市教委048-572-9578】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:45~16:45 土・日曜日は13:15まで
第20 羽生市立羽生北小学校 (羽生市北2-1-1) 【048-561-0058】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:30~16:30 6/12(土)、20(日)は12:00まで
第21 春日部市立春日部中学校 (春日部市粕壁4-4-15) 【048-761-2253】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:30~16:30 土曜日は12:00まで
第22 葛蒲総合支所 (久喜市葛蒲町新堀38) 【0480-85-1111】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10:00~17:00 土・日曜日は15:00まで
第23 幸手市立さかえ小学校 【0480-43-1509】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:30~16:30 土・日曜日は12:30まで
第24 越谷市教育センター (越谷市増林3-4-1) 【048-960-4150】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:00~18:00 土曜日は16:00まで
第25 三郷市立瑞沼市民センター (三郷市上彦名870) 【048-950-2277】	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9:00~18:00 日曜日は17:00まで

令和2年度戸田市民大学認定講座実績

令和3年3月26日現在

	講座名	担当課	開講日	回数	全参加者数	単位認定者 延べ人数	単位認定者 実質人数	新規配布	
<b>◆くらしコース◆</b>									
新	1	日頃からできる防災対策	下戸田公民館	7/9(木)	※宝珠大学として定員に達し、市民大学として募集せず				
	2	戸田ヶ原・野の草花講座	みどり公園課	10/24(土)	1	9	0	0	0
新 新	3	自治基本条例フォーラム	協働推進課	1月中旬	中止				
	4	あいバル防災DAYS 「アクティブ避難DAY」	協働推進課 (上戸田地域交流センター)	2/6(土)	中止				
	5	あいバル防災DAYS 「HUG(ハグ、H避難所・U運営・Gゲーム)」体	協働推進課 (上戸田地域交流センター)	2/7(日)	中止				
	6	防犯講習会	防犯くらし交通課	2/14(日)	中止				
	7	男女共同参画フォーラム	協働推進課 (上戸田地域交流センター)	2/27(土) ★オンライン開催	1	24	8	8	3
	8	緑化研修会	みどり公園課	2/19(金)	中止				
	9	樹木剪定技術講習会	みどり公園課	3/9(火)	中止				
<b>◆スポーツコース◆</b>									
	1	ボート体験教室	文化スポーツ課	11/1(日)	2	35	1	1	0
<b>◆健康コース◆</b>									
新 新	1	ヨガ入門講座(初級編)	新曽公民館	8/22~9/12(土)	4	22	0	0	0
	2	骨こつ教室	福祉保健センター	9/9(水)、1/14(木)、3/26(金)	2	49	14	14	1
	3	ストレッチ・リズム体操	下戸田公民館	9/15~10/20(火)	5	85	24	4	2
	4	生活習慣改善教室(講義編)	福祉保健センター	9/30(水)	中止				
	5	さわやか体操講座	美笹公民館	10/8~10/29(木)	4	16	16	4	0
	6	おとなの3B体操	下戸田公民館	10/27~12/1(火)	5	85	19	4	0
	7	認知症予防に活用したい植物療法	下戸田公民館	1/30(土)、2/6(土)	中止				
	8	免疫力アップライフ講座 ~家庭でできる健康生活~	協働推進課 (新曽南多世代交流館)	12/6(日)	1	8	0	0	0
<b>◆大学連携コース◆</b>									
	1	青山学院大学連携講座	生涯学習課	5/16~6/20(土)	中止				
	2	埼玉大学連携講座		9/19~10/10(土)	4	60	60	21	3
	3	岐阜女子大学サテライト講座		11/7、12/5(土)	2	32	32	20	3
<b>◆市民参画・人材養成コース◆</b>									
新	1	とだ学	生涯学習課	10/25(日)	1	18	18	18	6
	2	市民企画講座「バラスポーツの可能性」		11/21(土)	1	28	23	23	
	3	戸田の魅力を掘り起こす「発見力」を育てよう! (生涯学習サポーター養成講座)		1/23中止、2/13(土)★オンライン開催	1	6	6	6	1
<b>◆教養コース◆</b>									
新	1	歴史講座I	美笹公民館	7/1、7/8(水)	2	10	6	3	0
	2	スマホでSNS入門・体験コース	新曽公民館	8/28(金)	1	5	3	3	0
新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新	3	星空観察会：夏の星空	郷土博物館 (彩湖自然学習センター)	8/29(土)	1	19	0	0	0
	4	大人の初歩ピアノ講座	新曽公民館	9/2~10/28(毎週水曜・全9回)	9	54	8	1	0
	5	荒川と水防	美笹公民館	9/9(水)	1	17	9	9	1
	6	インターネット講座	下戸田公民館	9/10(木)	1	4	1	1	0
	7	人権問題について学ぶ	美笹公民館	9/23(水)	1	8	4	4	0
	8	金融経済について	下戸田公民館	9/24(木)	※宝珠大学として定員に達し、市民大学として募集せず				
	9	古典文学講座	美笹公民館	10/10~10/24(土)	3	16	13	5	0
	10	子育て講演会	生涯学習課	10/13(火)	1	28	5	5	2
	11	環境コミュニケーション	環境課	10/20、11/10(火)	中止				
	12	歴史講座	新曽公民館	10/23~11/6(金)	3	42	42	15	5
	13	戸田ぶらりウォーク	生涯学習課 (上戸田地域交流センター)	10/25(日)	1	19	0	0	0
	14	人権教育講座	新曽公民館	11/5(木)	1	16	4	4	0
	15	歴史講座II	美笹公民館	11/12、11/19(木)	2	16	14	7	1
	16	歴史ガイドと歩く新曽ツアー	新曽公民館	11/14、11/21(土)	2	12	11	7	0
	17	彩湖周辺の野鳥観察	郷土博物館 (彩湖自然学習センター)	11/14(土)、12/20、1/17、2/14(日)	2	35	0	0	0
	18	IT講座 SNS入門・体験(LINE・Twitter)	美笹公民館	11/20(金)	1	4	1	1	0
19	楽しく学ぶ韓国語教室	下戸田公民館	11/26~1/21(木) 1/14、21中止	6	42	12	2	0	
20	人権教育指導者研修会	生涯学習課	11/10(火)、11/17(火)	2	159	13	8	0	
21	古典講座	中央図書館	12/6、12/13(日)	2	53	35	20	5	
22	スマホ入門・体験コース	下戸田公民館	12/9(水)	1	8	1	1	0	
23	現代文学講座	美笹公民館	12/12、12/19、12/26(土)	3	21	21	8	1	
24	茶道講座	新曽公民館	1/12~2/9(火)	中止					
25	人権講演会	生涯学習課	7/10(金)延期⇒1/20(水)	中止					
26	コンパル講演会	協働推進課 (笹目コミュニティセンター)	2/14(日)	中止					
27	現代課題講座	生涯学習課	7/11(土)延期⇒2/27(土)	中止					
28	プログラミング講座	下戸田公民館	2/20(土)、2/27(土)	中止					
29	文学講座	中央図書館	3/7、3/14、3/21(日) →3/28(日)	中止					
30	公開講座(閉講式)	生涯学習課	3/14(日)	中止					
31	春の彩湖を歩こう	郷土博物館 (彩湖自然学習センター)	3/21(日)	中止					
32	文化財講座	郷土博物館	3/21、3/28(日)	中止					
33	人権講演会	生涯学習課 (上戸田地域交流センター)	未定	中止					
34	広めよう、心と情報のバリアフリー	障害福祉課	未定	中止					
<b>合計</b>				(全58講座)	<b>80</b>	<b>1,065</b>	<b>424</b>	<b>227</b>	<b>34</b>
				R1年度数値(67講座)	172	3,362	1,283	588	92

「いつでも・どこでも・誰でも」をモットーに!



# 戸田市民大学 カリキュラム予定表

令和3年度版



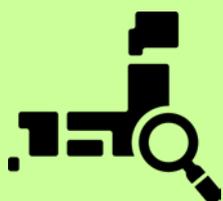
くらし  
コース



スポーツ・健康  
コース



大学連携  
コース



地域の学び  
コース



教養  
コース



パソコン・  
タブレット活用  
コース

戸田市教育委員会

※新型コロナウイルスや災害等の影響により、掲載した内容に変更が生じる場合があります。最新情報は市ホームページをご確認ください。



## 戸田市民大学とは？



戸田市民大学は、学ぶ楽しみと活動する喜びのあふれるまちづくりの実践に向け、講座受講を単位認定する「市民大学認定講座」により構成しています。

また、皆様の高い学習意欲に応えるだけでなく、市民参画による事業運営を推進することで、生涯学習の一層の充実と、地域づくりや地域文化の創造を担う人材の育成を目的に開講しています。

共に学ぶ楽しみと活動する喜びを深めていきましょう。

### ◆受講資格◆

戸田市在住・在勤・在学者が受講できます。

※どの認定講座からでも受講票を受け取り、気軽に参加することができます。

### ◆申込方法◆

市の広報「戸田市」や市ホームページで、随時募集します。

各講座を担当する課へお申込みをお願いいたします。

### ◆各講座の担当への問合せ先◆

くらし安心課	電話 048-441-1800(代表) ファクス 048-433-3358 メール kurashi110@city.toda.saitama.jp
文化スポーツ課	電話 048-441-1800(代表) ファクス 048-433-3358 メール bunka-sport@city.toda.saitama.jp
みどり公園課	電話 048-441-1800(代表) ファクス 048-433-2200 メール midori-koen@city.toda.saitama.jp
福祉保健センター	電話 048-446-6479 ファクス 048-446-6284 メール health@city.toda.saitama.jp
障害福祉課	電話 048-441-1800(代表) ファクス 048-444-5588 メール syogaifuku@city.toda.saitama.jp
生涯学習課	電話 048-441-1800(代表) ファクス 048-432-9910 メール kyo-syogaigaku@city.toda.saitama.jp
新曽公民館	電話 048-445-1811 ファクス048-445-1812
美笹公民館	電話 048-421-3024 ファクス048-421-3060
下戸田公民館	電話 048-443-1021 ファクス 048-443-1020
中央図書館	電話 048-442-2800 ファクス 048-442-2801 メール chuo@library.toda.saitama.jp
郷土博物館	電話 048-443-5600 ファクス 048-442-8988 メール hakubutu@city.toda.saitama.jp
彩湖自然学習センター	電話 048-422-9991 ファクス 048-422-9993 メール kyo-saiko@city.toda.saitama.jp
新曽南多世代交流館	電話 048-229-1061 ファクス 048-447-2055
上戸田地域交流センター	電話 048-229-3133 ファクス 048-229-3996
図書館上戸田分館	電話 048-442-1211
笹目コミュニティセンター	電話 048-422-9988 ファクス 048-422-8220 メール sasameit@compal.jp

### 【発行】

戸田市教育委員会 生涯学習課 (戸田市民大学事務局)

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1

電話：048-441-1800 ファクス：048-432-9910

メール：kyo-syogaigaku@city.toda.saitama.jp 28

# 新型コロナウイルス感染防止対策

講座を受講される方は、  
以下の点にご理解・ご協力をお願いします。  
(最新情報等は市ホームページをご覧ください)



手洗い



咳エチケット

- 発熱や風邪症状のある方は、講座への参加をご遠慮ください。
- 会場内ではマスクの着用をお願いします。
- 入室時、退室時には手指の消毒をお願いします。
- こまめな手洗い、咳エチケットを積極的に行いましょう。
- 感染者の発生に備え、ご自身での受講日時の記録や、接触確認アプリ(COCOA)等のダウンロードを推奨します。



密集回避



密接回避

- 講座開催の前後や休憩時間も含め、会場内で近接した距離での会話等はお控えください。
- 受付時や受講時、退室時には、密集・密接した状態を避けるようご協力をお願いします。



換気



密閉回避

- 定期的に会場内の換気を行います。

今後の感染状況によっては講座が中止・延期となる可能性があります。  
何卒ご了承ください。

# 令和3年度 戸田市民大学カリキュラム予定表

## ■暮らしコース

	認定講座名	開催日	担当
新	1 詐欺被害に合わないための知識を学ぶ講座	5/13(木)	新曽公民館
新	2 戸田市の防災～日頃の備えで身を守る～講座	5/20(木)	新曽公民館
新	3 AED体験救急救命講座	9月～12月実施予定	新曽南多世代交流館
	4 防犯講習会	10月下旬～11月中旬の土曜	くらし安心課
新	5 埼玉県の河川防災について	11/10(日)	美笹公民館
新	6 あいパル防災DAYS 「アクティブ避難DAY」	2月実施予定	上戸田地域交流センター
新	7 あいパル防災DAYS 「HUG (ハグ、H避難所・U運営・Gゲーム)」体験	2月実施予定	上戸田地域交流センター
	8 緑化研修会	2月実施予定	みどり公園課
	9 樹木剪定技術講習会	3月実施予定	みどり公園課

## ■スポーツ・健康コース

	認定講座名	開催日	担当
新	10 パークゴルフで体を動かす講座	5/11、5/18(火曜・全2回)	美笹公民館
	11 ヨガ入門講座(初級編)	5/22～6/12 (毎週土曜・全4回)	新曽公民館
	12 生き生き体操講座	6/3～6/24 (毎週木曜・全4回)	美笹公民館
	13 骨こつ教室	6月、10月、1月 ※年度内に1回だけ参加可	福祉保健センター
	14 ボート体験教室	7月、11月実施予定	文化スポーツ課
	15 パワーヨガ講座	9/4～9/25 (毎週土曜・全4回)	美笹公民館
	16 ストレッチ・リズム体操	9/21～10/19 (毎週火曜・全5回)	下戸田公民館
新	17 転倒予防パドル体操講座	10/7～10/28(毎週木曜・全4回)	美笹公民館
	18 おとなの3B体操	10/26～11/16(毎週火曜)、11/27(土) 全5回	下戸田公民館
新	19 認知症予防に活用したい植物療法	10/30(土)、11/6(土)	下戸田公民館
新	20 食べて学ぼう！薬膳講座	12月実施予定	新曽南多世代交流館

## ■大学連携コース

	認定講座名	開催日	担当
21	青山学院大学連携講座	5/15～6/5(毎週土曜・全4回)	生涯学習課
22	埼玉大学連携講座	9月～10月実施予定 (毎週土曜・全4回)	
23	岐阜女子大学連携講座	11月～12月実施予定 (土曜・全2回 対面と遠隔1回ずつ)	

## ■地域の学びコース

	認定講座名	開催日	担当
24	彩湖周辺の野鳥観察	5/16、11/13(土)、12/29、 1/16、2/13 (11/13以外は日曜・ 全5回)	彩湖自然学習センター
25	歴史まちあるき講座 戸田ぶらりウォーク	5月30日(日)、10月実施予定 (全2回)	上戸田地域交流センター (図書館上戸田分館)
26	星空観察会:夏の星空	8/28(土)	彩湖自然学習センター
新 27	2021年は埼玉誕生150周年!! 知られざる埼玉の魅力	9/8(水)	美笹公民館
28	戸田ヶ原・野の草花講座	10月実施予定	みどり公園課
29	とだ学	10月～12月実施予定	生涯学習課
30	新曽地区の歴史散歩	11/13、11/20(土曜・全2回)	新曽公民館
31	歴史ガイドとめぐる街歩き	11/18(木)	下戸田公民館
32	文化財講座	11月実施予定	郷土博物館
33	市民企画講座	11月～12月実施予定	生涯学習課
新 34	星空観察会:冬の星空	1/29(土)	彩湖自然学習センター
35	生涯学習サポーター 養成講座	1月～3月実施予定	生涯学習課

## ■教養コース

	認定講座名	開催日	担当
36	大人の初歩ピアノ講座	5/12～7/28(毎週水曜・全12回)	新曽公民館
37	現代文学講座	5/15～5/29(毎週土曜・全3回)	美笹公民館
38	人権教育講座	5/27(木)	新曽公民館
39	英語でしゃべろう英会話講座	6/1～7/13(毎週火曜・全6回)	美笹公民館
40	歴史講座 I	6/30、7/7(水曜・全2回)	美笹公民館

	認定講座名	開催日	担当
新	41 広めよう、心と情報のバリアフリー	7/2(金)、11/1(月) ※11/1は7/2の状況により開催	障害福祉課
	42 人権教育	7/8(木)	下戸田公民館
	43 現代課題講座 I	7/10(土)	生涯学習課
	44 英語でポップスを歌おう	8/19~11/11(隔週木曜)、 11/28(日) 全8回	下戸田公民館
	45 公開講座	9/12(土)	生涯学習課
新	46 人権問題を楽しく学ぶ	9/22(水)	美笹公民館
	47 古典文学講座	10/9~10/23(毎週土曜・全3回)	美笹公民館
	48 子育て講演会	10/13(水)	生涯学習課
	49 歴史講座	10/20(水)、10/27(水)	新曽公民館
	50 歴史講座 II	11/11、11/18(木曜・全2回)	美笹公民館
	51 楽しく学ぶ韓国語教室	11/25~1/20(毎週木曜・全8回)	下戸田公民館
	52 人権教育指導者研修会	11/8(月)、11/12(金)	生涯学習課
	53 茶道講座	1/11~2/8(毎週火曜・全5回)	新曽公民館
	54 人権講演会	1/21(金)	生涯学習課
新	55 コンパル講演会 & ミニコンサート	2月実施予定	笹目コミュニティセンター
	56 現代課題講座 II (閉講式)	3/12(土)	生涯学習課
	57 古典講座	12月実施予定	中央図書館
	58 文学講座	9月~11月実施予定	中央図書館
	59 男女共同参画フォーラム	未定	上戸田地域交流センター

### ■パソコン・タブレット活用コース

	認定講座名	開催日	担当
新	60 タブレット入門コース	8/27(金)	新曽公民館
新	61 Power Pointの基礎講座	9/24(金)	下戸田公民館
新	62 スマートフォン入門講座	11/26(金)	美笹公民館
	63 スマホ入門・体験コース	12/8(水)	下戸田公民館
新	64 Windows10講座	2/9(水)、2/10(木)	下戸田公民館

## 青山学院大学・戸田市連携講座の開催報告について

## 1 講座内容

※当初は文化会館での対面型講義と市公式 YouTube でのオンデマンド配信（講義動画の期間限定・申込者限定公開）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4回全ての講義を当日オンラインでの生配信（zoom）及び市公式 YouTube でのオンデマンド配信とした。

回	期 日	テーマ	講 師
1	5月15日（土）	「インド太平洋時代」の日本外交	青山学院大学 国際政治経済学部 国際政治学科 教授 菊池 努 氏
2	5月22日（土）	バイデン新政権と日米関係の課題と展望	慶応義塾大学 総合政策学部 教授 中山 俊宏 氏
3	5月29日（土）	中国から見た日中関係ーその重要性と課題	青山学院大学 国際政治経済学部 国際政治学科 教授 林 載桓 氏
4	6月5日（土）	核廃絶に向けた国際的取り組みと日本	青山学院大学 国際政治経済学部 国際政治学科 教授 阿部 達也 氏

## 2 受講者実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
オンライン配信 視聴者実績	29人	25人	28人	23人	105人
オンライン満足度	80%	83%	86%	81%	
オンデマンド 受講申込者	55人	64人	63人	62人	244人
オンデマンド (YouTube)再生回数	89回	98回	65回 (6/14時点)	54回 (6/14時点)	306回 (6/14時点)
オンデマンド満足度	78%	72%	76%	80%	

※参考 令和元年度受講者数 計197人

(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず)

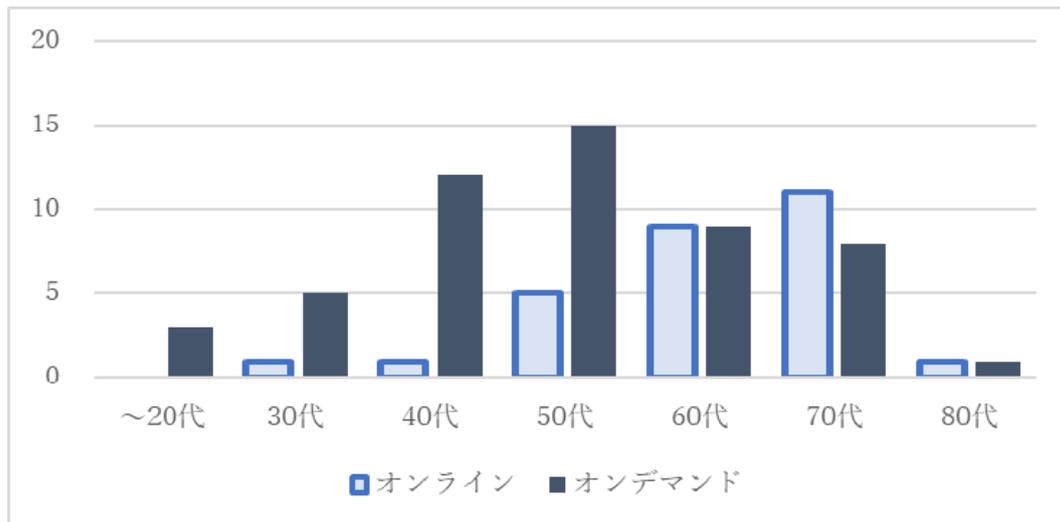


図1：年代別申込者数の分布

### 3 青山学院大学連携講座を終えて

新型コロナウイルスの感染防止のため、ZOOMを活用したオンラインでの当日生配信と、撮影動画の市公式YouTubeでの限定公開(オンデマンド配信)を行うこととした。

講義では、多くの資料に基づいて、国際関係の中の日本の視点に着目しながら丁寧に解説をしていただき、各回とも受講者たちに大変好評であった。総じて「国際関係の新展開」という総合テーマに相応しい講義内容であったと考える。

アンケート結果を見ると、満足度に関しては、オンラインは80%以上、オンデマンドは70%以上と高評価であった。

また、これまでの市民大学では参加割合が少なかった40代～50代の方から特に多くの申込みをいただいた。20代～50代では、オンデマンドの申込率が圧倒的に高く、自分の都合の良い時間帯に気軽に受講できることが支持されたと考えられる。

会場受講を申し込んでいた人の中には、自宅にオンラインやオンデマンドで受講できる環境がないということで、キャンセルされた方もいた。今後は、対面型とオンライン・オンデマンド配信を組み合わせたハイブリッド型の講座提供ができるよう、開催手法について工夫を行っていきたい。

#### 《参加者の感想》

- ・現在東アジアにおいて日本が取り巻かれてる状況がよく分かりました。(第1回)

- ・旬な講師による旬なテーマでとても満足しました。(第2回)
- ・世界が注目した大統領選挙について、トランプ、バイデンの人物像を織り交ぜながら話してくれて興味深かったです。(第2回)
- ・中国との関係が日本の立場からだけでなく、中国の視点からも講義を聴けたことは大変参考になった。(第3回)
- ・自分自身の核に関する知識を確認するためのよい機会になったと思います。(第4回)
- ・対面の臨場感は、何物にも代えがたい物ですが、今は「安心、安全」が有難いです。
- ・育児家事、仕事に忙殺される中で自分だけの時間をもつのは調整など大きなエネルギーがいるのですが、動画でゆっくり集中できる時間に聴講できるのはとてもありがたいです。
- ・スクリーン表示も近くで見られるので書き写しも楽にできる。
- ・今後も対面と YouTube を併用してほしい。
- ・質疑応答の時間がなかったのが残念。
- ・オンラインは初めての経験で、操作も不慣れでまごつきました。
- ・濃い内容の授業を休むことなく一時間半も受けると流石に疲れしました。
- ・どうしても一方通行の講義となったが、対面だと受講者の反応を見ながら内容を調整してもらえたと思いました。

#### 4 講義の様子



写真1：司会者あいさつ（5月15日）



写真2：受講風景（5月15日）



写真3：オンデマンド配信（5月15日分）



写真4：オンデマンド配信（5月22日分）



写真5：オンデマンド配信（5月29日分）



写真6：オンデマンド配信（6月5日分）

## 第27回企画展 開催要項

- 1 名 称 「1964～戸田に聖火が灯る～」
- 2 開催趣旨 1964年に日本で開催された第18回オリンピック東京大会は、敗戦後の日本の急速な復興と国際社会への復帰を象徴する一大イベントであった。旧戸田町のインフラ整備もこれに合わせて大きく進み、道路の整備や笹目橋の架橋など、オリンピックを契機に大きく変わった。
- 漕艇競技会場となった戸田漕艇場は、「幻の東京オリンピック（1940年大会）」（返上、中止。）の際に整備が進められたもので、1964年の大会前に再整備されてボート競技開催に至った。また、会場には聖火台が設置され、大会開催中は国立競技場から分火された聖火を灯し続けた。
- 今年の開催が予定されている東京オリンピックでは、残念ながら戸田は競技会場になっていないが、過去2度のオリンピックにまつわる写真資料を中心に、戸田の街や人々の暮らしの様子を展示する。
- 3 開催期間 令和3年7月17日（土）～9月5日（日）【47日間】  
※期間中休館日：7月26日（月）、8月23日（月）、8月30日（月）、  
8月31日（火）
- 4 展示会場 戸田市立郷土博物館3階 特別展示室
- 5 主 催 戸田市立郷土博物館
- 6 展示構成 第1章 幻のオリンピックと戸田漕艇場  
第2章 漕艇競技会場決定と戸田  
第3章 1964～戸田に聖火が灯る～
- 7 入 場 料 無料

- 8 警備態勢 開館時：常設展示室監視員とは別に展示監視員1名の配置、図書館・郷土博物館全館の警備員による定期巡回
- 9 資料搬送 借用資料搬送は、学芸員が公用車を利用して行う。
- 10 関連事業 次のとおり（予定、詳細については別途起案）  
クイズラリー（名称は未定）  
日程 8月1日（日）～9月5日（日）（予定）  
会場 図書館・郷土博物館3階特別展示室  
内容 展示をじっくり見てもらうために、展示にちなんだ問題を用意し、各自で解いてもらう。回答者のうち先着500名（予定）に、記念品を贈呈する。
- 11 印刷物 ・ポスター（A3判、カラー）：800枚〔主として町会配送517枚他〕  
・リーフレット（A4判、両面カラー）：10,000部  
〔小・中学校クラス数配布 他館郵送、館内配布〕  
・展示解説小冊子（A4判、16頁、カラー）：3,000部  
〔館内配布、他館郵送〕
- 12 広報活動 ・ポスター掲示（町会掲示板、小中学校、公共施設、他の博物館等施設）  
・リーフレット配布（小学校及び中学校クラス数配布、公共施設、他の博物館等施設）  
・館ホームページ、館内掲示の充実  
・イベント関連サイトでの情報提供（日本博物館協会）
- 13 その他 市が参加する「東京2020応援（参画）プログラム」の認証済